BCLファンの情報誌

ABC 50's

Vol. 1

Akihabara BCL Club

はじめに

「秋葉原 BCL の集い」も回を重ね、いろんな人の参加をいただき、人の輪がひろがってきました。

一方、ABC の会員になられたにもかかわらず、遠方であるために集いに参加できない方もおられるかと思います。

このたび、集いに参加された方の活動の紹介の意味も含めてこんなものをつくってみました。集いに参加したことがない方も BCL の楽しさを共有していただけたら幸いです。

2017 年夏　編集担当

目次

秋葉原 BCL の集い報告	せきやま☆あすか	4
マグネチック・ループアンテナのテスト	はなぶさおさむ	22
犬吠埼灯台日帰り DX ペディ受信リスト	西口隆司	26
南カリフォルニアでの現地受信報告	JF2ANB	29
中波 DX 大好き	せきやま☆あすか	33
南房総 DX ペディション記	西口隆司	35
VORW にまつわるエピソード		37
今月の色紙	せきやま☆あすか	38
慎太郎通信	岡田慎太郎	39
ガルバニックアイソレーターを 1000 円ぐらいで何とかしたい		41
移動受信用小型中波アンテナの実験	JF2ANB	42
富士山５合目での FM 補完放送遠距離受信		44
富士山五合目（富士宮口）で和歌山放送の補完局受信	JF2ANB	45
第 30 回 NASWA-Winter SWL Fest!	尾原栄	47
念願のアイボール	せきやま☆あすか	54
ＢＣＬとの出会い	岡田慎太郎	55
我が受信ライフを振り返る	捧克之	58
私の BCL ライフ年表「楽しみ方の変遷」－43 年の足跡	安田寿男	61
BCL との出会い、そして KTWR フレンドシップラジオとの出会い	まっつん	62
日本語放送スケジュール	BCL Information Net	64
表彰のお知らせ	せきやま☆あすか	65
会員自己紹介	石﨑亮史朗	66
編集後記		66

秋葉原ＢＣＬの集いの報告　　**せきやま☆あすか**

早いもので、第８回の秋葉原ＢＣＬの集いを迎えることになりました。ここで、第一回からの集いを改めて振り返ってみることにしました。ブログで報告したものを再掲する形で紹介します。

①　4 月 30 日に「第 1 回秋葉原 BCL の集い」を開催しました。

おかげさまで９名のご参加をいただきました。お忙しい中まことにありがとうございます。BCL ラジオやベリカード、昔のカタログなどお持ちいただきましたね。

十代のお若い方との新鮮なふれあいと驚き、そしてまたベテランの方からは貴重なお話と珍しい受信音源の公開を賜り、楽しいひとときを過ごすことができました。

あっという間の３時間でした。みなさん、BCL がホントに好きなんですね。ネットでは得られないライブならではの楽しみが十分にあふれていました。

思いきってやってみて良かったです。

ありがとう。感謝します。

秋葉原駅から徒歩5分、こじんまりした静かなスペースでした。お菓子をつまみながら自己紹介やそれぞれの BCL 活動についての歓談で盛り上がりました。受信音の公開もありましたね。

JRC NRD-545を持ち込み「秋葉原でみんなでラジオを聞く」を行いました。目の前に10F マンションがあるなど都会的な環境でノイズ S9以上の中、19mb で中国局が聞こえてました。

1次会(左)と2次会(右)の記念写真です。お疲れさまでした。ご都合で2次会のみご参加の方もいらっしゃいました。次回もお時間に合わせてお気軽に遊びに来ていただければ幸いです。

今回の秋葉原 BCL の神８。

～秋葉原周辺メモ　その１～

＜東京ラジオデパート編＞

・キョードー

真空管を購入するならここがおすすめです。9R-59D(S)のレストア用の 6BA6 や 6BE6 は 500 円から、6AQ8 は 2500 円からあります。

・シオヤ無線

往年のラジオ少年おすすめのラジオパーツの店です。バリコンやフェライトバーアンテナもあります。10×180ｍｍのフェライトバーもあります。影山さんのループアンテナに使用するバリキャップ 1SV149 も売っています。バーニアダイヤルもあります。5 球スーパー用コイルなんかも売っています。

・斉藤電気商会

特殊パーツのお店。R&K の DBM とか、トリマー、フェライトコアとかの高周波パーツを扱っています。CQ 出版社から昔出版された「アマチュアの V･UHF 技術」とか「トロイダル・コア活用百科」に出てくるような部品はここで入手できます。

全体的に、日曜日はお休みの店が多いので、行くなら土曜日がおすすめです。
平日も各店 18 時頃には閉店してしまいます。

②「第2回秋葉原BCLの集い」を開催しました。

6月11日(土)の午後、「第2回秋葉原 BCL の集い」を開催しました。BCL ラジオを目印に秋葉原駅に集合です。

おかげさまで10名の熱心な BCL のみなさまにご参加いただきました。初めてお会いする方もいらっしゃいましたね。今回も喜んでいただけたようでうれしく思います。

これって「ラジオ」じゃなくて「受信機」じゃないの？

少しだけ内容をご紹介しておきますね。

パソコンで聞くラジオ"SDR"のデモンストレーション、スマートな解析方法の実例、DX ペディションでの珍しい受信音源の公開、外国の放送局の現地調査におけるマル秘エピソード、海外日本語放送の特別番組とイベントのお知らせ、E スポで聞く FM 放送遠距離受信の最新レポート、富士山山頂でのモニタリング報告、カセットテープへのこだわりと記録メディアの上手な使い方、ノイズ対策のヒント、BCL のブログ開設情報、ヤフオク掘り出し物情報、などなど。

あっというまの3時間でした。参加者のみなさまそれぞれに新しい発見や出会いがあってずいぶんと刺激になったようですよ。

そのあとは居酒屋さんでの2次会でお酒も入ってラジオの話題でまた盛り上がりました。ほんとにラジオがお好きな人たちですね。はい、酎ハイおかわり！

いつも開催前はドキドキなのですが、参加者のみなさまの温かい笑顔を見るとホッとします。お忙しい中お越しくださり、ありがとうございました。感謝します。

また次回も、ご都合よろしければお会いしましょう。そして、みなさんでこのすばらしい趣味を盛り上げて行きましょう。

ご参加のみなさんのブログで当日の模様がご紹介されました。ぜひご覧ください。

□ぐっちゃんさんのブログ。http://bclphoto.blog22.fc2.com/blog-entry-2243.html

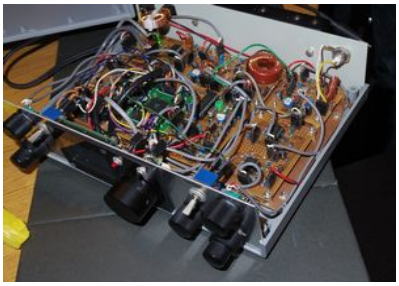
□はなぶさおさむさんのブログ。http://99machinenet.at.webry.info/201606/article_7.html

また「BCL は趣味の王様の掲示板」でもスナップ写真をご紹介していますので、併せてどうぞ。
http://6232.teacup.com/bcl_prince/bbs

～秋葉原周辺メモ　その２～
＜ラジオセンター編＞
　ガード下の小さなお店が集まっているところです。
中央通り側入り口の電線やさんは昔からありますね。１ｍ単位で電線を切り売りしてくれます。アンテナ用に電線を買ったことがあります。1 階のフロアーにはこのほかトランス専門店、電子関係専門の本屋さん、ハンディー機のお店とか特徴のあるお店があります。山本無線さんは、フィギュアや外国人観光客向けのお土産にも手を拡げていますね。
　2 階のフロアーでまず目につくのは、e-SHOP レンタルショーケースという委託販売形式のお店です。懐かしの BCL ラジオが多数展示されています。（尾原さんの記事参照）
山本商事では、いろんな変換コネクターを多数扱っています。M型からＦ型とか RCA への変換など高周波系やオーディオ系のステレオ／モノラルの変換などの変換コネクターを在庫しています。変換コネクターは何種類か手元に持っていると重宝します。
　池乃谷ラジオは真空管ラジオの部品を扱っています。ラジオライフに紹介されました。

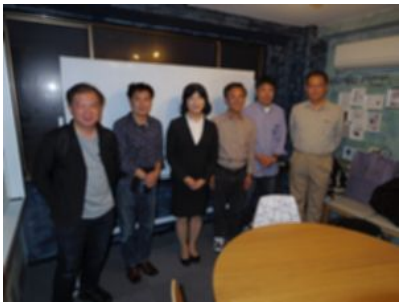
③「第3回秋葉原 BCL の集い」を開催しました。

おかげさまで8名のご参加がございました。
今回は自作ラジオで BCL を楽しんでいらっしゃる方々がお越しくださったので、また新しい楽しみ方を知ることができました。



こだわりがたくさん詰まった再生式受信機。

DSP ラジオキットと竹筒バーアンテナのコラボ。



いつもの秘密基地には熱気があふれていました。

みなさま、ご参加どうもありがとうございました。　　(せきやま☆あすか)

～秋葉原周辺メモ　その３～
＜Aitendo　編＞
　いわゆる「秋葉原電気街」エリアからは少し離れて、末広町駅の近くに店舗があります。住所も千代田区ではなく、台東区になります。
中国出身の若い女性店員ばかりのちょっと異色のパーツ屋さんで、パーツやキットを安価に提供しています。ただし、キットは説明書が同梱されておらずホームページの資料を見て作成することになります。この資料も場合によっては中国語のデータシートだったりしてわかりやすいものとは言えません。ジャンク品を扱うつもりでいるのが妥当かと思います。ラジオ関係のキットやパーツは結構あり、バリコンと同じサイズの基板に組み込んだ DSP ラジオユニットとかも売っています。バーアンテナやポリバリコンは種類も多く、ポリバリコン用の延長シャフト、中国製真空管を利用した AF アンプなんかもあります。
周波数カウンタキットは 455kHz のオフセット設定ができるので昔のシングルスーパーラジオにとりつけて遊ぶには便利です。

④「第4回秋葉原 BCL の集い」を開催しました。

12月3日の午後に「第4回秋葉原 BCL の集い」を開催しました。おかげさまで9名の熱心な BCL にご参加いただき、にぎやかな時間を過ごすことができました。
みなさん、お忙しい中どうもありがとうございました。
毎回のように多彩な顔ぶれが集まりそれも楽しみの一つなのですが今回は遠く新潟からお越しになられた方がいらっしゃいました。ぐんまよりぜんぜん遠いです。お疲れさまでした。「みんな BCL が好きなんだねー」とご満悦のご様子でしたね。

まいどおなじみ秘密基地。

超貴重な「BCL 高校生」のツーショット。

また、高校一年生の BCL がお二人お見えになりました。元からの友人関係ではなくて今回たまたまこの集いで顔を合わせるという偶然です。数少ない同世代の仲間との出会いに喜んでいたようです。もっともっと仲間が増えるといいですね。

今回の内容を少しだけご紹介しましょう。

自己紹介と近況報告。
KTWR チャット会のご案内。
来年の DX pedition 開催のお知らせ。
コミュニティ FM 開局情報。
東北や沖縄での DX pedi 受信音の公開。
高校生 BCL くんが集めたベリカードの閲覧。
横浜での FM 富士受信状況の考察。
なつかしの日本語放送音源の公開。
(R.オーストラリア、RCI、RVA)
カセットテープ音源の MP3化について。
AM ステレオ放送で聞いたオールナイトニッポン。
自作ループアンテナのモニター依頼。
高校生 BCL くん、SDR に初めてさわる。
AOR の広帯域受信機のデモ。
FM 補完放送のマル秘情報。南極局の受信展望。DX 向きのアンテナとロケーションの考察。秋葉原 BCL クラブの会員募集。(2名ご入会)

次回開催のご案内。

おかげさまで4回目を迎えた集いのぼくの感想ですがほとんどの方が「BCL の話がしたい」という熱い思いで来てくれているのかなという気がします。
初対面の方も初めはおそるおそる緊張の面持ちで発言されるのですが気が付けば独演会などということもありますね。いつも時間が足りない感じです。
はじめての方、遠方にお住まいの方も歓迎ですのでぜひ秋葉原の秘密基地に遊びに来てください。そしてご一緒に語り合いましょう。お待ちしています。

今回も男前がそろいましたよ。

さいごになりましたがお菓子の差し入れをくださった方、ありがとうございました。あまりにもおいしかったのでここでご紹介させていただきますね。なんと、お取り寄せ対応とのことですよ。

ベンデル洋菓子店のファミリーボンボン

http://www.ac.auone-net.jp/~benderu/familybonbon.html

（せきやま☆あすか）

～秋葉原周辺メモ　その４～
＜akiba: F 献血ルーム編＞
　今回はラジオとは関係ありませんが。献血ルームを紹介しましょう。
秋葉原駅の電気街口南口を出てまっすぐ行った突き当たり、ソフマップ 5 号店の入っているビルに akiba:F 献血ルームがあります。
　待ち時間にはずらっと並んだコミックが読み放題です。ホームページによりますと「名作から新作まで都内随一の蔵書量を誇るコミックス」とのことです。水分補給には無料の自動販売機で好きなものを飲む形式になっています。献血バスだとあまり飲み物の選択肢がありませんが、ここでは種類が多くて目移りしてしまいます。採血開始前から終了後までに 3 回水分補給するように言われますが、2 回目（だったと思います）のときに「暖かいものを飲んでください」と言われた時には、スープもあります。

⑤「第5回秋葉原 BCL の集い」を開催しました。

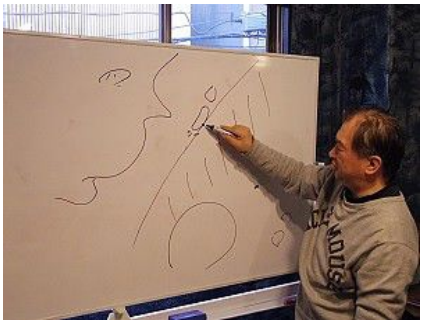
2月4日に「第5回秋葉原 BCL の集い」を開催しました。
今回ははじめての方を含む9名の参加となりました。この日はお天気にも恵まれました。みなさんお忙しいなか足を運んでいただきありがとうございました。遠くは新潟からお越しの方もいらっしゃいましたね。

主な内容は以下の通りです。

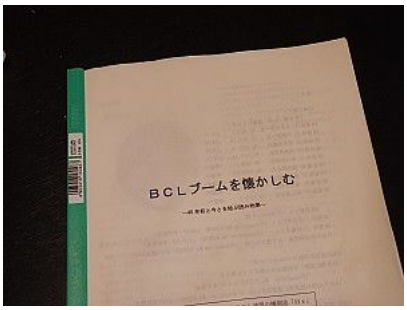
自己紹介と近況報告。
パッシブ型シールドループアンテナの使用感
沖縄での DXpedition レポート
「月刊短波」で R.オーストラリア日本語放送の音源公開
朝のアフリカ局も聞こえる局が少ないコンディション
自分で作った過去記事のまとめ冊子「BCL ブームを懐かしむ」の回覧
ネットを通じて知り合った BCL 仲間からのメール紹介
三才ブックス「ラジオ受信バイブル」の紹介
自由コリア放送の受信音紹介と即興日本語同時通訳
ALA1530シリーズの性能についての討論
フラッグアンテナ FRG100の実力
Δループアンテナを作る楽しみと使用感
徹底したノイズ対策の実例と効果
受信動画の YouTube アップロード方法の実演
DRM 放送のデコード方法
BCL 高校生が最近集めたベリカード紹介
横浜での FM 富士の受信状態調査
マンションのベランダでのアンテナ設置の実例
山登りと楽しむ BCL と無線
東京都内で DX ペディションに適した公園情報
アルゼンチン RAE の昔の音源公開
ラジオコレクターの驚くべき実態
山田耕嗣先生の遺品ラジオの行方
HCJB 尾崎さんとの交流秘話
KTWR 専用受信報告書の紹介
ハムフェア2017での BCL 展示計画
ラジオ小説「アンデスの声」の紹介
バヌアツとモンゴルの放送の入感状況を図解で説明
アルゼンチン RAE の春の入感予測
初参加の方に記念品のプレゼント
次回開催のご案内。

そのほかにも面白い話題がもっともっと飛び出していたと思うのですがとにかくみなさん我も我もとおしゃべりになってカラオケでいうところの「マイク離さない状態」でしたね。3時間ではまったく足りない感じでぼくは用意して行った話題のいくつかを遠慮するほどでした。

その熱気が伝わるでしょうか。会場内のもようを雰囲気だけでもどうぞ。



同じ周波数7260kHz で放送しているバヌアツとモンゴルの放送の信号強度の移り変わりについてぐっちゃんさんからわかりやすい説明がございました。



ご自分でお作りになられた「BCL ブームを懐かしむ」という冊子です。むかしの資料をコピーしてまとめられたこの世で一冊だけの貴重なものです。まさにオンリーワン。すばらしいですね。

いつもありがとうございます、ブログや BBS で有名なはなぶささんからお菓子の差し入れがございました。みんなでおいしくいただきました。

そして終了時刻の17時が近付いたところではなぶささんからひと言ポーンと「ラジオ好き」なぼくらの心に突き刺さるお言葉をいただき今回の幕を閉じました。

「朝はスピーカーで聞きたいよね」

最近の早朝ワッチタイムはあまりいいコンディションではないとのこと。早く春になっていい状態でアフリカのリズムなどヘッドホン無しでゆっくり楽しみたいという気持ちが伝わってきました。その通りですね。

今回もみなさんの笑顔に会えてよかったです。次回は4月1日(土)の開催予定です。

BCL はまだまだ元気です。みなさんも秋葉原に来ませんか。
ぐっちゃんさんがブログでご紹介くださいました。ぜひご覧ください。□秋葉原 BCL クラブのミーティングに行って来た

http://bclphoto.blog22.fc2.com/blog-entry-2345.html

(せきやま☆あすか)

そして2次会は近くの居酒屋さくら水産で。みんなのアイドル、ラジオ女子さんを囲んで楽しい話に花が咲きましたよ。

密着しすぎ！

～秋葉原周辺メモ　その５～
＜神田カレーグランプリ編＞
「神田」といっても神田駅の近くだけではなく、水道橋駅付近から秋葉原駅の近くまでを含めて旧神田区のエリアを「神田」と総称するようです。
　ちなみに秋葉原電気街付近は、おもに千代田区外神田です。また、水道橋駅近くは「西神田」で、白山通りの道沿いには「ナンダ　かんだ　西神田」というフレーズが掲げてあるのを見ることができます。
　その神田エリアでは、カレー屋さんが多く、激戦区となっています。
　毎年「神田カレーグランプリ」なるものが開催されています。ファン投票による予選を勝ち抜いたお店が一か所に集結したテント村でのグランプリ決定戦が 11 月初旬に実施されます。2017 年は 11 月 4,5 日の予定です。
　このときは、味比べができるように通常のお店で提供されるメニューより小さ目のサイズのものを味わうことができます。人気店のテントは大行列になります。
　興味のある方は「神田カレーグランプリ」で検索してみてください。秋葉原駅周辺にもグランプリに参戦する店がありますよ。

⑥「第6回秋葉原 BCL の集い」を開催しました。

もうしわけございませんでした、第6回のご報告をするのを忘れておりました。掲示板の方でお叱りを受けましたのであわてて書くことにします。だいぶ忘れかけておりますのでご勘弁ください。

4月1日(土)午後の開催です。

今回ははじめての方お二人を含む9名のご参加でした。新潟から駆け付けてくれた方もいらっしゃいました。みなさんお忙しい中お越しくださいましてありがたく思います。はじめての方々はどちらもベテランの OM さんです。緊張しますね。

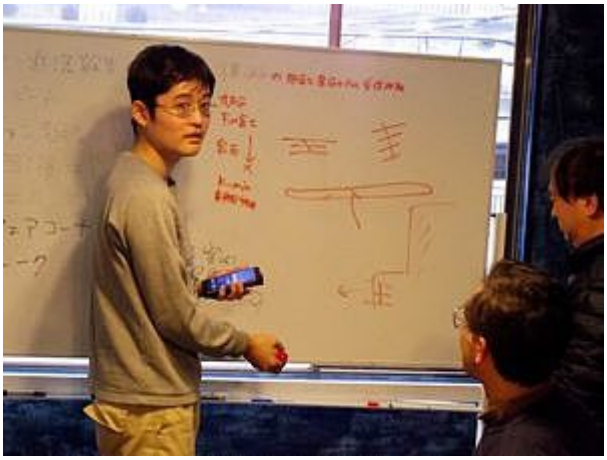
そのベテランのお一人からマグネチックループアンテナの電源部の改良のご説明がございました。簡単な回路図までお描きくださりとてもわかりやすいものでした。同様のアンテナをご使用になられている方は参考になったことでしょう。

ハードの話が出たところでたまたまぼくが持参しましたデルタループアンテナのアンプ部をお見せしてみました。親しくさせていただいています先輩 DXer の方の手作り品でしたのでみなさん大変興味深くご覧になっていました。他の人の自作品を見る機会はあまりありませんよね。

そういえばこの日はざんねんながら不参加でしたハード好きの方から自作のアンテナキットのサプライズプレゼントもございましたね。当選者にはぼくの方から後日お送りさせていただきました。

さてすっかり常連参加者となりました BCL 高校生君からは「国内中波全局制覇まであと2局です」というわくわくするようなご報告がございました。KBS 京都の滋賀局と和歌山放送が残っているのだそうです。がんばってほしいと思いました。

BCL 高校生君はFM放送の受信にも興味があるそうでこの日はアンテナについてのご相談がありました。運よく VHF DXing に詳しい方がいらっしゃいましたのでアンテナの上手な使い方を図解でていねいにおしえていただいたようです。



本日のハイライトと言えば第1回の集いからご参加いただいています BCL の方から「アメリカ西海岸での現地受信報告」がございました。お仕事でカリフォルニア州に行かれた際に受信されました AM、FM 局のご紹介です。わざわざスライド機材をお持ちくださってみんなでステッカーなど拝見しながらの楽しい講演でした。こういうのいいですね。

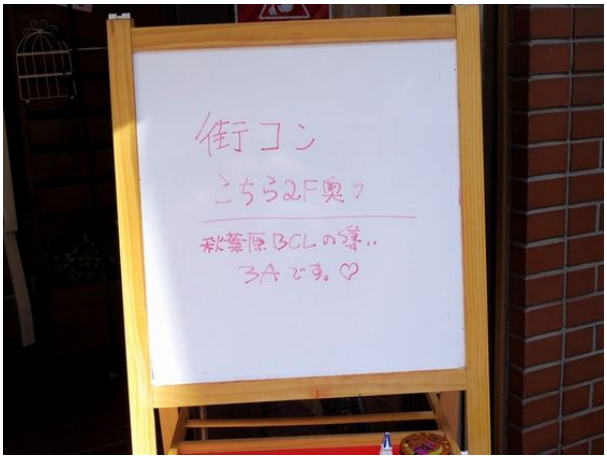
そうでした、ぐうぜんにもその前には「ペディション命！」を旗印に熱心にご活動されています中波 DXer の方から国内の DX pedition で受信できた北米中波局の受信音のご紹介もあったのでした。なかなか耳にすることのできない貴重な音源をお聞きかせくださりどうもありがとうございました。

そしてその「ペディション命！」の方からは5月下旬に南房総で開催されます DX pedition のご案内もございましたね。3つの BCL クラブ合同でにぎやかに行われるようですよ。秋葉原からも3名が参加する予定です。これは楽しみですね。

取り急ぎですがざっとご紹介しました。そして記念写真。いい笑顔がそろいましたね。

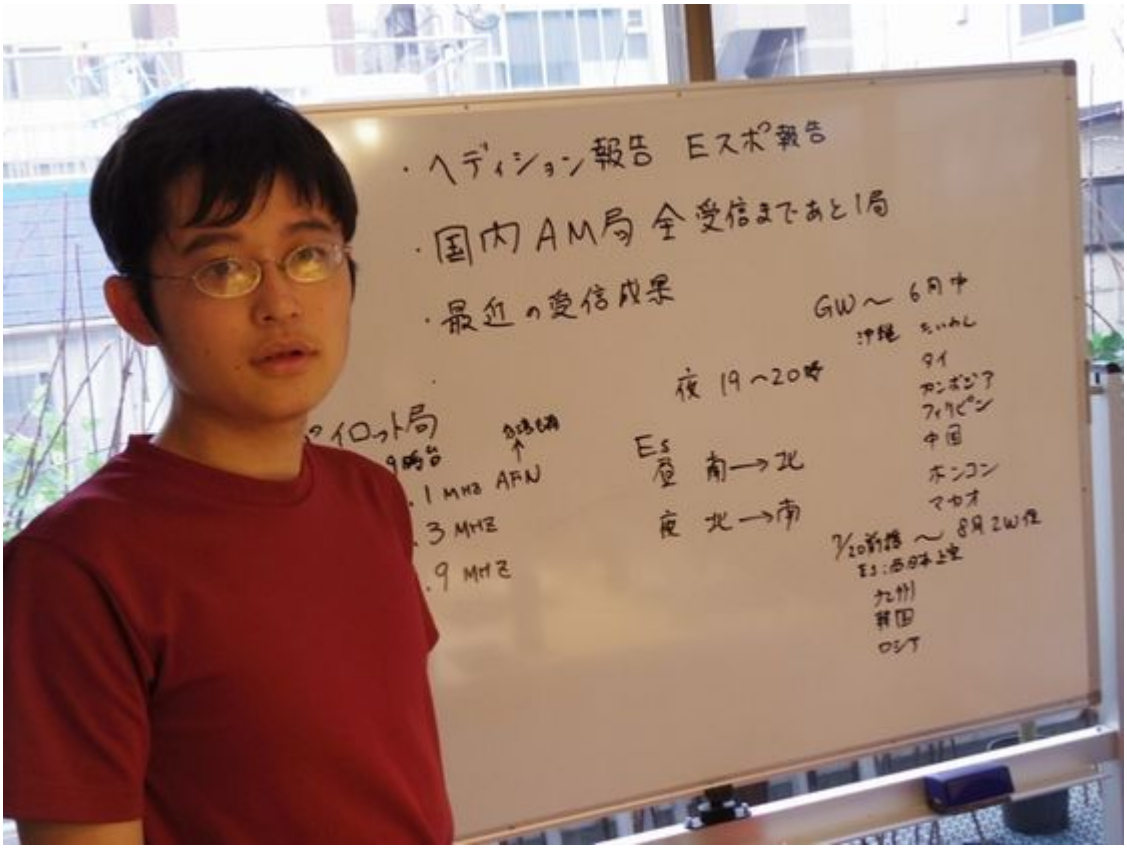
さいごにぼくがこの日いいなと思ったのは「夜行列車に乗りながらラジオを聞く」という楽しみ方です。純粋なペディションとは違いますが移動しながらですので少しずつ入感局が変わって行くおもしろ味があるのだそうです。鉄道趣味とのコラボもありでしょうかね。

⑦「第7回秋葉原 BCL の集い」を開催しました。



ご報告が遅れて申し訳ありません。6月3日（土）の午後に「第7回秋葉原 BCL の集い」を開催しました。参加者は14名でした。はじめての方もいらっしゃいましたね。

みなさん、お忙しい中お越しいただきましてまことにありがとうございます。



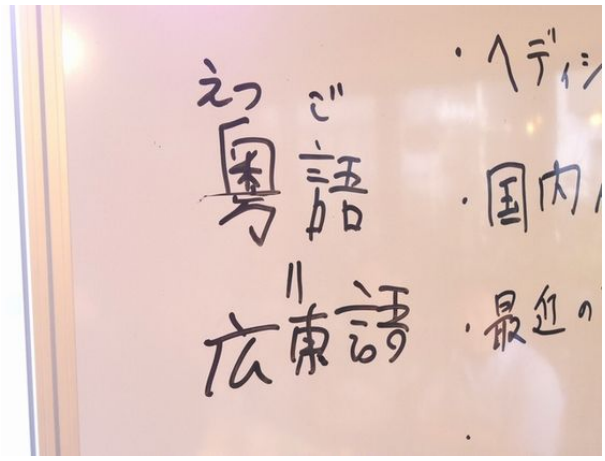
この日も BCL 高校生くんが元気に参加してくださいましたよ。彼のいま一番の目標は「国内 AM 民放全局制覇」なのだそうで、なんとあと一局まで迫っているのだと言います。きっとみなさんもむかし挑戦したことがあるでしょう。

それをお聞きになったベテラン DXer の方からは「もし達成できたら使っていない SDR をお祝いにプレゼントしよう」とのお申し出がございました。ずいぶんと太っ腹ですねえ。SDR を手に入れた BCL 高校生くんの今後の活躍が楽しみです。

このSDRは別の方がお持ちくださったものです。こうやって実物を見ると欲しくなりますね。

大きなトピックの一つとしてシーズンたけなわのEスポでのFM-DX受信についての詳しい解説がございました。Eスポはポータブルラジオでも楽しめるのがいいですね。そのほか一週間前に開催されました「南房総DXpedition」のご報告なども。

DXpediの参照記事はこちら。https://blogs.yahoo.co.jp/bcl_prince/15667118.html



また今回はアジア放送研究会のメンバーの「中国屋さん」のご出席もありました。どちらかと言えばBCLにはじゃま者扱いされている中国局ですが詳しく聞いてみると面白い発見などもあって楽しいですよ、とのことでした。勉強になりますね。

はじめてご参加の方が「BCLの楽しみ方の変遷－43年の足跡－」という自分史をまとめられて来て参加者全員に配って

くれました。冒頭部だけご紹介しましょうか。

「　1974年　学研の「中1コース」という雑誌でBCLの記事を発見し、SONYの

ラジカセ(studio1700)でBCLを始める。最初はベリカード目的なところから

入るが、後に難局受信に挑戦し多くの感動を味わう。・・・・・・」

この集いのためにわざわざご用意されたのだそうです。ありがとうございました。この方の「BCLが大好き」というお気持ちが十分すぎるほどに伝わって来ました。

今回もみなさんとご一緒に幸せな時間を過ごせたことに感謝したいと思います。

ぼくらの「BCL秘密基地」の前での記念写真です。お疲れさまでした。みなさんいい笑顔です。

2次会は近くの居酒屋さんで大きなテーブルを囲んでの大宴会となりました。

なつかしいベリカードのコレクションをご披露していただくなど大いに盛り上がりましたね。こっそりと自作のアン

テナユニットの発表会などもあったようです。中にはポータブルラジオを取り出してちょこっと「居酒屋ワッチ」を楽しまれていた方もいらっしゃいました。お酒が入るとみなさんテンション上がりますねぇ。

ネットではダンディなDXer氏もここでは謎の笑みを。これからシャカシャカポテトしますので。

次回の開催は8月5日(土)の予定です。詳細はまたご案内しますのでお楽しみに。

※参加者のはなぶささんがブログに素敵な記事を書いてくださいました。

http://99machinenet.at.webry.info/201706/article_1.html

(せきやま☆あすか)

今回のおやつのベーグル。早い者勝ちね。http://bagelbagel.jp/products/bagel/

せきやま☆あすか直筆原稿

2017.6.3

第7回秋葉原BCLの集い

思いがけず14名の熱いBCLが集った。ありがたいことです。
みんなBCLが好きなんだなあ。
そんな気持ちが伝わる会でした。
幸せな時間に感謝します。
「BCLはまだまだ元気です」

せきやま☆あすか

マグネチック・ループアンテナのテスト

はなぶさおさむ

2016 年 12 月 4 日に行われたせきやま☆あすか氏主催の第 4 回秋葉原 BCL ミーティングにて、ミーティングに出席された S さんよりお友達が作製されたマグネチック・ループアンテナのテストを依頼されました。
エレメントに同軸ケーブルを使用した中波帯対応受信用の直径約1mの微小ループアンテナです。
500kHz～1600kHz までの中波帯の S/N 比が改善されるそうです。島根在住の師匠と違って私はテストがあまり得意ではありませんが、せっかくご依頼を頂いたので自分に出来る事をやらせて頂きます。

12 月 4 日にお借りしてから早 1 ヵ月が経過してしましましたが、テストをサボっていた訳ではなく、少しずつ受信データーを集めておりました。なかなかテスト結果がアップされなかった事で、不安を感じさせておりましたら大変失礼しました。

まず初めに、アンテナのテストとは言っても、拙宅にはちゃんとした測定器もアンテナアナライザーも無いので、単純に聞こえるか聞こえないかのテストしか出来ないという事をお断りしておきます。
また、良く聞こえるか聞こえないかは主観に左右される場合も否めません。そこで分かりやすくする為に、単純にアンテナ同士の受信比較テストという形にしました。
アンテナを切り替えながら受信動画をそのままアップロードしますので、アンテナが切り替わるたびに変わる受信状況を楽しんで頂けたら幸いです。

今回の受信テストで比較したアンテナは以下の通りです。

Magnetic Loop Antenna（今回テストを依頼されたアンテナです。）
303WA-2 by ApexRadio
FLAG アンテナ(4M x 1M) by Wellbrook FLG100

以上の 3 本のアンテナを拙宅の2F ベランダに設置し 20 秒経過ごとに切り替えながら受信動画を記録しました。
Magnetic Loop アンテナはエレメントがなるべく丸い形になるようにベランダの桟(木製) に紐で括り付けました。

比較用アンテナについてですが、有名な 303WA-2 は Magnetic Loop と比較するのに最適ではないかと

考えましたので、このアンテナとの比較がメインになります。
当初この 2 本だけで比較動画を作成するつもりでしたが、せっかくなので FLAG アンテナでどれだけ聞こえているのか加えることにしました。
FLAG アンテナはアンプ内蔵なので、あくまで参考とお考え下さい。つまりはそれだけ差があるという事です。

それでは受信テスト動画を淡々と貼っていきます。
まずは 15415kHz Radio Australia の受信画像です。

YouTube 受信動画:
https://youtu.be/vB-c0aaxEGk

20 秒ごとに FLAG、Magnetic Loop、303WA-2 の順に切り替えています。
コンディションが良くて、非常に強力に入感していたという理由ですが、3 本のアンテナともいずれも良好に電波を捉えています。
これだけ良好に聞こえてくれれば全く問題ありません。

続いて、15640kHz Radio Pilipinas の受信画像です。

YouTube 受信動画:
https://youtu.be/8a6tA2QuFZc

20 秒ごとに 303WA-2、Magnetic Loop、FLAG の順に切り替えています。
(これ以降の動画は全て 303WA-2、Magnetic Loop、FLAG の順に切り替えています。)
こちらも近隣局なので非常に強力に入感しており、3 本とも非常に良い状態で受信出来ています。こちらも 3 本とも問題ないですね。

Magnetic Loop ですが、ノイズが少なくとても聞きやすいアンテナです。本当は中波帯用のようですが、短波のハイバンド受信に使っても何ら問題ありません。

では少々難しいところで
7254.93kHz Voice of Nigeria の受信画像です。

YouTube 受信動画:
https://youtu.be/QEX2gzafqxE

途端に 303WA-2 & Magnetic Loop とも少々厳しい状況になりました。

6180kHz Brazil 局です。

YouTube 受信動画:
https://youtu.be/y2v7tbs0mDM

夕方のまだ上がりきっていない時間帯なので、3 本のアンテナともノイジーですね。

9400kHz TWR Africa の受信画像です。

YouTube 受信動画:
https://youtu.be/Q63AQa-GDKs

少々厳しかったので Preamp を On / Off 切り替えながらテストしています。303WA-2 は Preamp を ON にしたことで逆に聞こえなくなりました。

続いてまたしても 15415kHz Radio Australia ですが、303WA-2 と Magnetic Loop の 2 本のアンテナに Preamp(DMAX50 20dBm)を始めから入れた状態でテストしています。

YouTube 受信動画:
https://youtu.be/HzoI9CbrBR8

闇雲に Preamp を入れれば良い訳じゃないことが、良く分かる動画となっています。

参考までに 15415kHz の上記と同じ時間帯での FLAG と ALA-1530LNP の比較動画もあげておきます。

YouTube 受信動画:
https://youtu.be/L_WILsIIiaE

ハイバンドという理由が大きいですが、ALA-1530 は FLAG よりもさらに一段階良好に受信出来ています。

拙宅の場合、あくまでベストな受信状況を追求するのであれば、ALA-1530 の一択となります。

中波帯について
この Magnetic Loop は中波帯受信対応アンテナとの事で ALA-1530 ループアンテナと同じく指向性があるそうです。但しエレメントに同軸を使用している為、柔らかく自宅ベランダでは希望の方向に保持するのは難しかったです。自宅ではなるべく綺麗に丸型になるようにベランダに括り付けましたが、指向性は東西方向に限定されていることをお断りしておきます。
それでは 1512kHz から。

YouTube 受信動画:
https://youtu.be/tiHr8C1NA20

続いて 630kHz。

YouTube 受信動画:
https://youtu.be/tiHr8C1NA20

入っているのは KBS ですね。
さらに 1575kHz。

YouTube 受信動画:
https://youtu.be/gWLIXiVvD1s

AFN 岩国です。Magnetic Loop は残念ながら厳しいですね。
強く入感すれば別ですが、フィリピンやグアム、オーストラリアなどを狙うのは難しいようです。指向性が一方向という理由もありますが、ゲインが足りないようです。
とは言え、拙宅のような超強電界地域では安易にプリアンプを使う訳にもいかないので、なかなか厳しいものがあります。

まとめ
Magnetic Loop アンテナですが全体的には良く出来たアンテナだと思います。

静かで確かに宣伝されていた通りS/N比が優れており、了解度が良いと思いました。
ハイバンド帯まで使えるのには驚かされました。山や丘の上など見晴らしが良い静かな場所で使えば相当聞こえると思います。お手軽モビ用に1本持っていると便利だと思いました。

但しDXで弱い局を狙うには、やはりパワー不足が否めませんでした。
早朝のアフリカ局を始め北米とヨーロッパ局の受信動画も撮りたかったのですが、残念ながらFLAGでもやっとという局が多く、Magnetic Loopと303WA-2では厳しい状況のまま時間切れとなりました。
ノイズが静かく静かなプリアンプがあればもう少し活用範囲が広がりそうです。最もこれは303WA-2でも同じことが言えます。

補足：303WA-2について
受信動画を見て頂けばわかる通り、303WA-2はどの周波数帯においてもMagnetic Loopアンテナよりもゲインがあります。ここに303WA-2が良いアンテナだと言われる秘密があるように思います。

コメント（5件）

◆テストをお願いしたSです。詳細なレポートありがとうございます。本人に伝えたところ、更に改良を加えるとのことです。ありがとうございました。
(S@Tokyo)

◆こんにちは。長期にわたる受信テストと細やかな動画編集ありがとうございました。受信音の比較テストとなれば我が家の秘密兵器、娘の出番です。どのアンテナでも良好に聞こえていましたRadio AustraliaとRadio Pilipinasに関しましてはトーシローの耳には「303WA-2が自然な音でいい」とのことでした。そう言われるとそうかも？　ぼくはこれまで303WA-2にあまり関心がなかったのですが価格も1万円程度で軽量・コンパクト、ご近所さんにも優しいコスパに優れたアンテナなのかも知れませんね。申しわけないことにそのほかの受信音については「ザーザー言ってよくわかんない」とのことでした。世の中にはけっこうアンテナ自作マニアの方がいらっしゃって各々に工夫をされていますよね。このたびのはなぶささんの比較レポートはそういったみなさんにもご参考あるいはいい刺激になったのではないかと思います。お忙しい中どうもありがとうございました。
(せきやま☆あすか)

◆S@Tokyoさん、レポート作成が遅くなり失礼しました。テスト自体は新鮮で楽しかったです。また何か機会がありましたらよろしくお願いします。
(はなぶさ)

◆せきやま☆あすかさん、素晴らしい聴力と感性をお持ちのお嬢様がいて羨ましいです。娘さんの仰っている事は間違いなく本質を突いていると思いますよ。ありがとうございました。
(はなぶさ)

◆今回、一旦録音してそれを再生しながら編集したのではなくて、オンタイムで録画しながらアンテナを切り替えています。理由はアンテナ切り替えと同時に全域のHFスパンがどのように変化するのかも見て欲しかったからです。
(はなぶさ)

出典：はなぶさおさむのざつぼくりんブログ　http://99machinenet.at.webry.info/201701/article_1.html

犬吠埼灯台　DXペディション受信リスト

西口　隆司

2017年3月3連休の初日、初めて千葉県銚子市の犬吠埼灯台のある広場で、屋外DXペディションを行いました。

ここは、海抜約25m程の丘の、海に突き出たロケーションで、外房の屋外DXペディとしてのロケーションでは、いすみ市の太東崎と一位・二位を競うほどの好ロケーションにあると言っても過言では無いと思います。

これまで何度も犬吠埼周辺でのDXペディションは実施して来ましたが、灯台放送の送信アンテナの直下であることから、灯台放送の電波による悪影響を懸念。この地でのDXはせず、丘を降りた君ヶ浜海浜公園や、近くのペンションでDXを行っていました。

ところが、2016年秋に灯台放送が廃止され、DXの障害が排除されました。そこで、犬吠埼灯台前の広場でのDXを決起。カリブ海のキューバ中波局の受信等、大きな成果を上げることが出来ました。

ここでは、その犬吠埼灯台前の広場で受信した中波DX局の受信リストをお届けします。

周波数	局名	地域	JST		SINPO	言語	番組内容
550	KUZZ, Bakersfield, CA(推定)	USA	1858	1905	22332	EG	カントリー音楽プロ
567	KUGM, Agana	GUM	＋1957	2005	32332	EG	CM、1959ID″K-57 KGUM, Agana. Guam″、CM、CBSニュース
580	KMJ, Fresno, CA	USA	1858	1905	32332	EG	CM, 1900ID″Newstalk … KMJ, Fresno.″、CBSニュース、インフォメーション
594	DZBB, Obando	PHL	2058	2104	31331	FP	ニュートークプロ、2100ID″GMA Radyo DZ doubleB.″
600	KOGO, San Diego, CA	USA	＋2059	2104	22332	EG	時報、2000ID″This is KOGO.″、ニュートーク
610	KONA, Kennewick-Richland, WA(推定)	USA	2057	2104	22332	EG	ニュートークプロ、ABCニュース
630	KUAM, Agana	GUM	1757	1808	33333	EG	チャモロ民謡演奏、1759ID″KUAM, Agana, Guam. Isla-63.″、CM、チャモロ民謡演奏
630	DZMM Radyo Patrol, Obando(推定)	PHL	2157	2205＋	32332～21331	FP	男性トークプロ
650	KENI, Anchorage	ALS	1757	1808	32332	EG	インストゥルメンタル音楽、インフォメーション、1759ID″Newsradio 6-50 KENI, Anchorage.″、ABCニュース、ニュートークプロ
666	DZRH, Valenzuela	PHL	＋2200	2207	21331～32332	FP	2201MBCネットアナ&女声コーラスSJ、CM、女性コーラスの歌演奏
670	KDLG, Dillingham, AK	ALS	1957	2005	32332	EG	インフォメーション、CM、1959ID″We are　67 KDLG, Dillingham″、ニュース
680	KNBR, San Francisco, CA	USA	2157	2207	33333	EG	スポーツトーク、2159ID″KNBR, San Francisco.…″
690	CBU, Vancouver, BC	CAN	2057	2104	22332～	EG	インフォメーション、CM、CBCニュース
700	KBYR, Anchorage	ALS	2157	2207	32332～31331	EG	2159″700 KBYR, Anchorage. Alaska ″、ABCニュース、ニュートークプロ
730	CHMJ, Vancouver, BC	CAN	2057	2104	22332	EG	女性トーク、2059ID″CHMJ AM7-30, Vancouver,.″＆女声コーラスSJ、交通情報
760	KGU, Honolulu, HW	HWA	1858	1905	22332	EG	ニュートーク、1859ID″This is talk, KGU Honolulu″
780	KNOM, Nome, AK	ALS	＋2059	2104	32332	EG	2059ID″KNOM, AM and FM Nome, It's 4 o'clock.″、ニュース
780	KKOH, Reno, NV	USA	＋2159	2202＋	22332	EG	2159ID″KKOH Reno, KKOH.com″、ニュース
828	DXCC, Cagayan de Oro City	PHL	2157	2207	32332	FP	インフォメーションプロ、2203RNMネットのSJ、ニュートークプロ
830	KHVH, Honolulu, HW	HWA	1858	1905	32332	EG	ニュートーク、1900ID″News Radio 8-30 KHVH, Honululu.″、FOXニュース
840	CFCW, Camrose, AB	CAN	1828	1835	22332	EG	カントリー音楽プロ、910kHzとパラ
846	DZRV Radyo Veritas, Malolos	PHL	2157	2207	32332	FP	インフォメーションプロ、2200ID&SJ、ニュートークプロ
850	KICY, Nome, AK	ALS	1757	1808	44444	RS	男女アナによるゴスペルソングプロ、1802ID″KICY Nome.″
880	KIXI, Seattle	USA	1957	2004	22332	EG	インフォメーションプロ、2004ID″KIXI.com…KIXI AM″
890	BBC World Service Relay Station	XXX	＋2157	2207	22332	EG	インストゥルメンタル音楽、時報、2200BBC World ServiceのID、BBCニュース。アメリカのNPRはBBC World Serviceを中継する時間帯がある。だとすると、可能性が高いのは、アラスカのKBBI, Homer.

周波数	局名	地域	JST		SINPO	言語	番組内容
910	CKDQ, Drumheller, AB	CAN	1828	1835	33333	EG	CFCW（840kHz）中継のカントリー音楽プロ。、1829にCFCWのID
920	KSRM, Soldotna, AK(推定)	ALS	2057	2104	21331	EG	ニューストーク、2100ABCニュース
940	KFIG, Fresno, CA	USA	1757	1808	22332	EG	スポーツトーク、1659ID″KFIG, Fresno.″、ESPN Sports Centerプロ
960	CFAC, Calgary, AB	CAN	1757	1808	32332	EG	スポーツトーク、CM、1800ID″CFAC 9-60.″
970	KUFO, Portland, OR	USA	1757	1808	32332	EG	ニューストークプロ、1759ID″Freedom 9-70, KUFO, Portland,″、FOXニュース、ニューストークプロ
980	CKNW, New Westminster, BC	CAN	1757	1808	32332	EG	インストゥルメンタル音楽、CM、1800ID″Vancouver News, Vancouver talk. …9-80 CKNW″、ニューストークプロ
990	KIKI, Honululu	HWA	1757	1808	33333～22332	EG	CM、1759ID”KIKI, Honolulu…″、スポーツトークプロ
1010	CBR, Calgary, AB	CAN	1757	1808	32332～22332	EG	Jazz演奏、インフォメーション、1800ID、CBCニュース、インフォメーション
1030	XESDD, Ensenada	MEX	1957	2005	23332	SP	Banda音楽演奏、2000ID″XESDD, La Tremenda …″
1040	CKST, Vancouver, BC	CAN	1757	1808	32332	EG	スポーツトーク、1759ID″CKST 10-40. I have an Radio station, Vancouver Sports.″、ESPN Sports Center.
1040	KLHT, Honolulu, HW	HWA	1757	1808	22332	EG	ハワイアン音楽プロ、1800ID″KLHT, Honululu, AM 10-40.″
1070	KNX, Los Angeles, CA	USA	2157	2207	22332	EG	ニューストーク、CBSニュース、2204ID、インフォメーション
1080	KFXX, Portland, OR	USA	1757	1808	32332～21331	EG	インフォメーション、1759ID″KFXX, KWJJ-HD2 Portland…″、ESPN Sports Center中継
1090	XEPRS, Rosarito	MEX	1858	1905	32332	EG	CM、1859スペイン語ID″XEPRS, Rosarito, Baja California″、ESPN Sports Center
1100	KFAX, San Francisco, CA	USA	1858	1905	32332	EG	宗教トーク、ニュース、インフォメーション、1903ID″1100 KFAX.″、宗教トーク
1110	KFAB, Omaha, NE	USA	1858	1905	22332	EG	ニューストーク、1900ID″Newstalk radio … 11-10 KFAB.″、ABCニュース
1120	KPNW, Eugene, OR	USA	1757	1808	33333～22332	EG	ニューストーク、1759ID”We are Newsradio 11-20 KPNW, Eugene…”、FOXニュース
1130	CKWX, Vancouver, BC	CAN	1858	1905	31331	EG	1859ID″CKWX News 11-30.″、ニューストークプロ
1140	KHTK, Sacramento, CA	USA	1658	1705	32332～21331	EG	スポーツインフォメーション、1700ID″… sports HD Stereo KHTK.″、CBS Sports Radio中継
1160	KSL, Salt Lake City, UT	USA	1858	1905	32332	EG	ニューストーク、CM、1900ID″KSL-FM Midvale. KSL Salt Lake City. KSL News Radio. 102.7FM and 1160 AM.″、ニューストーク
1170	KLOK, San Jose, CA	USA	1828	1835	22332	HI	インド音楽演奏、時報、1830ID″11-70AM Radio Desi.″
1180	R.Rebelde, Habana	CUB	1757	1808	22332	SP	サルサ音楽演奏、1800ID、ニュースプロ、1620kHzとパラ
1190	KEX, Portland, OR	USA	1757	1808	42332	EG	CM、1759ID″11-90 KEX, Portland. Now KEX News topics″、ABCニュース、ニューストーク
1200	WOAI, San Antonio, TX	USA	＋1759	1804＋	22332	EG	ニューストークプロ、1800ID″Newsradio … WOAI″
1220	XEB, México D.F	MEX	＋1700	1705	22332	SP	女性トーク、1800ID、メキシコマリアッチ音楽プロ
1300	KAPL, Phoenix, OR	USA	1658	1705	34333	EG	カントリー音楽プロ、1700ID″You are listenning to KAPL, AM 1300.…″
1300	KKOL, Seattle, WA	USA	2157	2207	34333～22332	EG	男女トーク、CM、2200ID″KKOL, Seattle. an Business…″、経済ニュース
1310	KMKY R.Punjab, Oakland, CA	USA	1828	1835	33333	HI	インド音楽演奏、CM、1830ID″Radio Punjab″
1320	CHMB, Vancouver, BC	CAN	1757	1808	33333	CH	中国歌謡曲演奏、1800英語ID″This is CHMB. AM 13-20, Vancouver.″
1350	KSRO, Santa Rosa, CA	USA	1757	1808	22332～21331	EG	ニューストーク、1800ID″KSRO. Santa Rosa.″、ABCニュース、ニューストーク
1360	KUIK, Hillsboro, OR	USA	2059	2103	22332	EG	ニューストーク、2059ID″KUIK, Hillsboro.″
1380	KRKO, Everett, WA(推定)	USA	2157	2207	22332	EG	スポーツトーク
1410	CFTE, Vancouver, BC	CAN	1757	1808	33333	EG	スポーツトーク、1701ID″Vancouver Sports Radio…TSN 103.5 FM.″
1460	KHRA, Honolulu	HWA	1757	1805	22332	KO	インフォメーション、CM、1659ID″Radio Korea″、韓国歌謡プロ

周波数	局名	地域	JST		SINPO	言語	番組内容
1460	KION, Salinas, CA(推定)	USA	2100	2102＋	21331	EG	2100ID(FMの周波数のみが聞き取れた)、FOXニュース
1470	CJVB, Vancouver, BC	CAN	1858	1905	22332	CT	中国歌謡曲演奏、1800英語ID″… Vancouver, AM 14-70 CJVB.,″、時報、CM、
1480	KGOE, Eureka, CA	USA	1757	1808	22332	EG	ニューストークプロ、1800ID″KGOE Newstalk,… This is KGOE News.″、ニュース
1500	KHKA, Honolulu, HW	HWA	＋1759	1808	32332	EG	1759ID″KHKA, Honululu, NBC Sports Radio…″、NBCスポーツニュース
1500	KSJX, San Jose, CA	USA	2057	2104	32332～21331	VT	女性トーク、2100英語ID″KSJX. 1500 San Jose.″、女性トーク
1510	KGA, Spokane, WA	USA	2157	2207	32332	EG	CM、インフォネーション、2159ID″Sports Radio 15-10 KGA. Spokane.…″、スポーツトークプロ
1512	DYAB, Cebu City	PHL	＋2200	2207	31331	FP	インストゥルメンタル音楽、2201ID″DYAB Radyo Patrol.″、女性トーク
1520	KKXA, Snohomish, WA	USA	1828	1835	22332	EG	カントリー音楽プロ、1831ID″1520AM … USA. KXA.com″
1520	KQRR, Oregon City, OR(推定	USA	＋2002	2005	22332	RS	男性アナによるニュースプロ
1530	KFBK, Sacramento, CA	USA	1757	1808	33333～32332	EG	ニューストーク、1801ID″Newsradio KFBK, Sacramento.″
1540	KREA, Honululu, HW	HWA	1858	1905	32332	KO	インフォメーション、時報、1900英語ID″This is KREA, Honolulu 15-40 AM Dial.″、韓国歌謡プロ
1540	KXEL Waterloo IA(推定)	USA	＋1901	1905	22332	EG	FOXニュース、インフォメーション
1550	KKOV, Vancouver, WA	USA	1858	1905	22332	EG	アダルトコンテンポラリーミュージック、1900ID″KKOV Vancouver, Portland,″、女声コーラス″KKOV″、男女アナによるニューストーク
1550	KUAZ, Tucson, AZ	USA	2157	2201＋	32332～21331	EG	ラテンポップス演奏、2200ネットワークのID″…KUAZ…15-50AM …KXOL 96.3FM.″
1550	KRPI, Ferndale, WA or KZDG, San Francisco, CA	USA	2201	2207	22332	HI	インド音楽プロ
1570	XERF, Ciudad Acuña	MEX	＋1701	1705	22332	SP	1701男女アナによる繰り返しID″XERF 1570kHz …″、メキシコランチェラ音楽演奏
1580	KBLA, Santa Monica, CA	USA	＋2059	2104	22332	SP	ラテンフォークソング、2100英語ID″KBLA … Santa Monica…″、女性トーク
1590	KGVB, Great Bend, KS(推定)	USA	＋1759	1801	21331	EG	アダルトコンテンポラリー音楽、男性トーク、ABCニュース
1600	KVRI, Blaine, WA	USA	1757	1802＋	22332	HI	インド音楽プロ、1800ID″This is KVRI, Blaine.″
1620	R.Rebelde, Habana	CUB	1757	1808	33333～22332	SP	サルサ音楽演奏、1800ID”Rebelde la Habana. la emisora de …”、ニュースプロ、1180kHzとパラ
1640	KDIA, Vallejo, CA	USA	1658	1705	33333	EG	宗教トーク、1659ID″This is 16-40 AM KDIA, Vallejo, San Francisco.″、CM、宗教トーク
1640	KBJA, Sandy, UT	USA	2057	2104	22332	SP	CM、2059ID″KBJA 16-40AM.″、男性トーク
1650	KBJD Radio Luz, Denver, CO	USA	2157	2207	23332	SP	インフォメーション、CM、カントリー演奏、2203ID″16AM Radio Luz…″
1656	2MM, Sydney	AUS	2157	2207	24332	GK	男性アナによるギリシャ民謡プロ、2200ID
1660	KBRE, Merced, CA	USA	1658	1705	25332	EG	ハードロック演奏、1658ID″KBRE, The Bear 105.7 …″
1670	KHPY ESNE Radio, Moreno Valley, CA	USA	2157	2207	33333～21331	SP	アダルトコンテンポラリー音楽、2159女声コーラスのSJ、インフォメーション、宗教トーク
1670	KQMS, Redding, CA	USA	2157	2207	22332～33333	EG	ニューストークプロ、2206ID″… Broadcasting to KQMS. …16-70AM, 104.9FM, 105.7FM.″
1680	KNTS Radio Luz, Seattle, WA(推定)	USA	2157	2207	33333～21331	SP	ラテンポップスプロ
1680	KGED, Fresno, CA	USA	2157	2207	21331～24332	EG	ニューストークプロ、2159ID″KGED Fresno. Newstalk We The Answer (繰り返し) AM 16-80.″、、FOXニュース
1690	KFSG, Roseville, CA(推定)	USA	1757	1808	34333～	SP	男性アナの宗教トーク
1700	XEPE, Tijuana	MEX	1658	1705	34333	EG	スポーツトーク、1659ID″You are listenning to ESPN Radio 1700.″
地域	AUS:オーストラリア USA:アメリカ合衆国(アラスカ、ハワイを除く) MEX:メキシコ CUB:キューバ CAN:カナダ ALS:アラスカ HWA:ハワイ GUM:グァム PHL:フィリピン						
時間	＋時間:f/inまたはb/in 時間＋:f/outまたはb/out						
言語	EG:英語 SP:スペイン語 HI:ヒンディ語 RS:ロシア語 KO:韓国語 VT:ベトナム語 CH:中国語 CT:広東語 GK:ギリシャ語						

（使用受信設備:ELAD FDM-S2 ＋ 8m×2m長方形FLAG東向け）

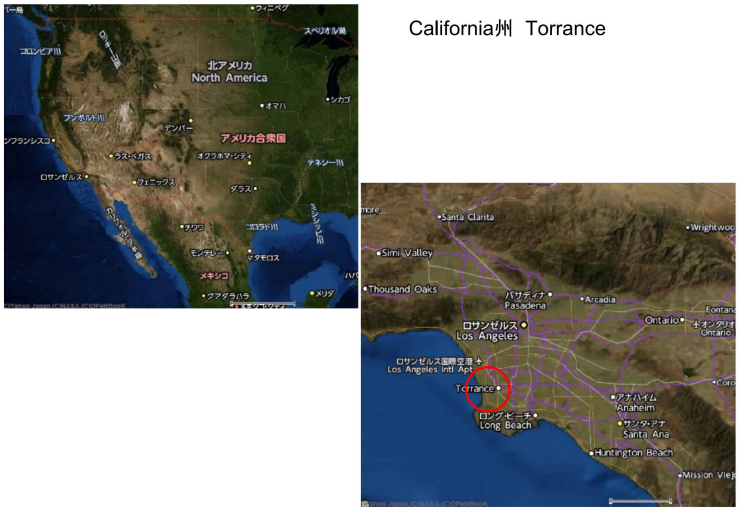
南カリフォルニアでの現地受信報告

by JF2ANB

出張でカリフォルニア州に行く機会がありましたので、ラジオを持参して現地受信をしてみることにしました。(2017.1.25-27)

使用したのは中華ラジオのDE1103、DE1125　です。この２台を使用して、内蔵アンテナでホテルの室内で中波局を受信しました。あと、FM放送を録音できるラジオを使って、おまけでＦＭラジオを録音しました。

場所は、Torranceというところで、ＬＡの空港から車で３０分ぐらいのところです。



California州　Torrance

DE1103は別途ICレコーダーを使用し、DE1125は録音機能を利用して、中波局のうち比較的受信状態の良い局を片っ端から録音していきました。あとはついでにもう一台のラジオでFM放送を録音しました。正時には、3台同時に録音していました。

英語以外にもスペイン語や韓国語、広東語の放送が受信できました。また、メキシコ局も何局か受信できました。

結果を受信リストにまとめました。現地時間の夕方から0時ごろまでと、一部は朝6時頃の受信です。日本で受信された報告のある局が多々あります。

Freq	Station	Remarks
570	KLAC	“This is AM 570 KLAC Los Angeles”
600	KOGO	“News Radio 600 KOGO and iHeart Radio”
640	KFI	“KFI-AM 640”
680	KNBR	“KNBR”
690	XEWW	“XEWW 690 AM California Mexico”
710	ESPN Radio	“ESPN LA 710”

740 KCBS “All news, all the time, news, traffic & weather for the bay area, all news 1069 and AM 740 KCBS”

760 KFMB “AM 760 talk and breaking news”/ “ AM 760 KFMB”

790 KABC “Talk Radio 790 KABC”

810 KGO “KGO 810 AM”

830 KLAA “This is UCI F-Leader basket ball, on AM 830 KLAA”

840 KXNT “840 AM KXNT”

860 XEMO la Poderosa “XEMO La Poderosa”

870 KRLA the answer “AM 870, the Answer ”/ “KRLA Glendale, Los Angeles”

930 Immaculate Heart Radio

940 ESPN Radio “ESPN Radio”

950 XEKAM Radio Formula “Radio Formula XEKAM 950.....20kw de potencia”

980 la mera mera “980 la mera mera”

1020 KTNQ “KTNQ Los Angeles”

1070 KNX “KNX 1070, News Radio”

1090 mighty radio “ESPN Radio”

1110 Radio Disney “Radio Disney”

1150 KEIB patriot “KEIB ,iHeart Radio”

1190 KGBN GBC “AM 1190 ミジュ　ボグン　パンソン　ＫＧＢＮ” /”ＧＢＣ　ミジュ　ボグン　パンソン”

1230 KYPA 韓国語局 IDは英語で“You are on dial Korean American No.1 Radio Station KYPA AM 1230 Los Angeles” と出た。

1330 KWKW ESPN “Porte Radio Los Angeles”/”KWKW 1330 AM FM HD 95.5”

1390 KLTX Radio Nueva Vida “Radio Nueva Vida 1390 AM KLTX Long Beach California”

1430 KMRB 広東語　IDは英語で“You are listening AM 1430 KMRB San Diego, Los Angeles”と出た。

1460 KTYM “KTYM 1460 AM Inglewood California”

1530 KFBK “News Radio, KFBK”

1540 KMPC Radio Korea 韓国語局　英語ID “Radio Korea AM 1540 KMPC Los Angeles”

1580 KBLA “KBLA 1580 AM Santa Monica de Los Angeles”

1650 KFOX Radio Seoul 韓国語局 “ヨロブネ　ラジオソウル　パンソン　イムニダ”

英語で”AM 1650 K-fox, You are listening to to Southern California’s No.1 Korean language radio station”

結果をまとめたついでに各局のロゴをホームページ等から拾ってみました。スポーツやニュースなど特徴が出ています。

英語局

スペイン語局

メキシコ局

- 690 XEWW
- 860 XEMO
- 950 XEKAM

韓国語局

- 1190 KGBN
- 1230 KYPA
- 1540 KMPC
- 1650 KFOX

余談ですが、現地のFMでTJSという局が日本語放送を実施しているようです。帰ってきてから知ったのですが、現地時間の朝8時から106.3MHzで1時間放送しているとのことです。ストリーミング放送も実施しているので日本で聞くことが可能です。

おまけ：ＦＭ受信メモ

freq	station	Remarks
89.3	KPCC	"KPCC Pasadena, LA"
90.7	KPFK	"KPFK Los Angeles"
91.5	KUSC	"South California's Classic Station 91.5FM"
93.1	Jack FM	"Jack FM"
94.7	the Wave	"Southern California 94.7, the Wave"
95.5	KLOS	"KLOS, Southern California"
96.3	KXOL	"LA No.1's Party Station,KXOL Los Angeles"
97.1	Amp Radio	"97.1 AMP Radio, LA's New Hit Music"
107.5	KLVE	"K-love","KLVE Los Angeles"

1611kHz DWNX, Philippines.

2017/4/10(月)

2016年の暮れにほんの一時期だけ出現しましたフィリピンのDWNXがまた中波バンドに現れました。周波数は1611kHzです。
この局の面白いところは本来はFMバンドの放送局なのですね。周波数は91.1MHzです。その局がなぜか中波の、しかもEx-Bandに出て来るとは不思議です。
信号強度はそれほど強くはありませんが混信の少ないチャンネルですので5時ごろの開始からしばらくの時間帯と22時過ぎの終了までの時間帯、朝と夜2回の受信チャンスがありますね。フィリピン中波の中では簡単に受信できる局と言えるでしょう。
地理的に不利な内陸ぐんまではちょっと弱い感じですが太平洋に近い地域にお住まいの方はもっと良好に聞こえるのではないでしょうか。じっさい東京都内でキャッチされている方もいらっしゃいますね。
ぜひチャレンジしてみてください。
中波DXファンのみなさん、FB DXing & 73!

コンディションのいい日。

2017/4/20(木)

けさ早く目が覚めましたので珍しく中波バンドを聞いてみました。自慢じゃありませんが、早起きしたからと言ってラジオを聞くなんてめったにないことです。
まずはSDRのスペアナでバンドの上の方の1600kHz台に注目してみるといくつかの山が見えます。おそらくオーストラリア局でしょう。周波数を合わせると弱くですが音になっています。おやおや。
自宅でこんなにぎやかなEx-Bandを見るのは初めてです。しかも簡易アンテナで。
これは南方面のコンディションがかなりいいのだなあと確信したぼくは4時半ごろから記録を開始しました。そしてこの調子だと5時過ぎに出てくるはずのフィリピンの注目局DWNXもいい状態で聞こえるのでは？とわくわくして来ました。
待つこと30分、05:02に「コンドルは飛んで行く」のミュージックでいきなり始まりましたね。ドカンという登場です。思った通りなかなかの状態で入感しています。これまでで一番です。コケコッコー

♪も鳴いています。いやあ、早起きしてよかったあ。
同じくフィリピンの常連局 1512kHz の DYAB も良好でした。
そしてオーストラリアの常連局ですが 1548kHz の ABC-4QD です。こちらもぐんまでは今まで聞いたことのないような音で聞こえていました。すばらしいです。
記録ファイルは 04:30～05:30 の一時間ほどですが、よく聞き直してみると他にも面白い局がいろいろ入ってるかも知れませんね。「晩酌の友」ができました。
こんなふうにコンディションのいい日に当たるとうれしいですね。ラッキーでした。これはもう「DX の神様」に感謝するしかないですね。以前に著名な DXer の先輩に DX の神様はいるんですかね？と訊ねたところ「絶対いる！」とのことでした。
中波に限らず短波、VHF でもコンディションを味方に付けると DXing がより楽しくなると思いますね。みなさんの幸運をお祈りします。
中波 DX ファンのみなさん、ご一緒に盛り上げて行きましょう。

1548kHz Deutsche Welle, Sri Lanka?

2017/5/29(月)

5 月 28 日の夜 22:25 に 1548kHz で Deutsche Welle の IS が聞こえていました。
耳を疑いました。
たしか、ぼくが BCL を休止している間(2011 年 10 月 29 日)に DW のスリランカ中継は廃止になったと聞いているのですが。なにか特別な放送でしょうか。
スリランカで歴史的大規模な水害のニュースも伝わって来ております。
詳細をおわかりの方がいらっしゃいましたらご教示くださるとありがたいです。
じつは別に珍しくもなかったりして…。(そのときはごめんなさい)

1377kHz RRI-Toli Toli, Indonesia.

2017/6/15(木)

ことしもラマダンの時期がやって来ました。中波 DX のターゲットとしてはインドネシアの特別放送があります。毎年楽しみにされている方も多いのではないでしょうか。
簡単にご説明すると、宗教上の理由があってふだんは放送していない時間帯に出て来てくれることでぼくたちの受信チャンスが生まれるという訳です。
その中で特に日本での受信実績があるのが 1377kHz の RRI-Toli Toli です。すでに多くのみなさんが受信されていますね。ぼくも早起きしてチャレンジしています。
6 月 15 日の 4 時、信号は弱いながらも聞こえていました。
ことしのラマダンは 6 月 25 日ごろまでということです。毎日 4 時前後に聞こえる可能性が高いと思いますのでぜひ狙ってみてください。
今だけの「期間限定」です。(また来年のラマダンでお会いしましょう。)

（せきやま☆あすか）

南房総 DX ペディション＆バーベキューの会　騒動記

西口　隆司

5 月 27(土)～5 月 28(日)に掛け、南房総市千倉町白間津の海沿いにあるペンション＆コンドミニアム「パームヴィレッジ」で DX ペディション＆バーベキューパーティを実施しました。
さて、その成果は？

この日、太陽活動の停滞期に向かっているというのに、なんと磁気嵐が発生。その影響を受けたせいなのでしょうか？。特に夕方のグレーライン時間帯の伝搬は、下見に来た 5 月 21 日とは雲泥の差。NHK を完全に潰して聞こえていたインドネシアの RRI。729kHz　Nabire、909kHz　Sorong は、NHK の裏でかすかに聞こえ、1188kHz　Manado はまったくかすらないという状況。
1 週間前に、このペディのために下見を行うため、単独で 1 泊しました。その時には、ずらーと並んでいた筈のオーストラリア ABC についても、面影が無いという状況で、聞こえていたのは、630kHz　ABC-4QN や 1548kHz　ABC-4QD 等のお馴染みの周波数は強く聞こえていたものの、それ以外はさっぱりという状況でした。

それならば、もう一つのお楽しみ、バーベキューパーティで楽しむしかありません。18 時より台所を借りて買い込んだ食材を手際良く調理。と言っても、野菜類をしっかりと水洗いした後、食べやすいようにカットしたり、皮を剥いたりして皿に盛り付けただけで、とても調理と言えるものではありませんが、何故だがその簡単な作業でもやりたがらないおっさんも多いこと。なんでも、滅多に包丁を握ることはないとか。いけませんなぁ、家族に頼り切りでは。
結局、普段、包丁を握っている方 3 名程で手際よく準備を進め、19 時頃にはバーベキューをスタート。… あっ、ちなみに自分はこの 3 名の一人デス(笑)。
包丁を握らない組の中には、既に酒を飲んでいる人もいた様子。しかも、それが日本酒で、東京一の銘酒である「澤乃井」だったりする。飲みたかったなぁ。
バーベキューは 23 時近い時間まで、延々と 4 時間も続きました。その間、SDR 受信機を持参した組はタイマーセットで記録していましたが、ポータブル機持参組はワッチしていた様子は殆ど見せず、酒とバーベキューで大盛り上がり。SDR 組も、その時間帯はワッチせず帰宅後に解析するので、もしその時間帯に珍局・難局が入っていたとしても、誰も気が付かないという状況。到底、DX ペディションとは思えない状況が続きました。
しかし、DX 局ではありませんが、先日、短い期間の放送で終ってしまった VORW Radio International(9875kHz)の、日本語 ID を担当した、関山さんの生声の ID がありました。タシケント送信とは違って変調はしっかりしていましたが、なんだか、ただの酔っ払いの生声。
ID が採用に至った経緯の説明もありましたが、同局パーソナリティの趣旨に感動して、一方的に ID 録音データを送ってみたら採用されちゃったとか。確か、日本語だけじゃなく、数ヶ国語バーションの計画もあった筈ですが、それが聞けないうちに日本向けが無くなってしまい残念。
その後は集合写真撮影をしたり、バーベキューなので最後はやっぱり、焼きそば。一本締めでバーベキューはお開きとなりました。

後かたずけ後、ワッチをする人がいるだろうと思いましたが、何故だか殆どの人がご就寝。こうゆうイベントを年に何度かやっていた、旧・日本 BCL 連盟のミーティング時代の若かりし頃と違って、やっぱり歳には勝てませんなぁ。

でも、自分はそのまま起きていて、アンテナを張り直しして DX。3 時頃には、下見時よりも FB に聞けたオーストラリアやニュージランド民放局もありました。中でも、693kHz の 4KQ を受信したのはほぼ 20 年振り。1990 年代までは東京都区内でも容易に受信出来たオーストラリア中波 DX の入門局的存在でしたが、今は中国局などの激しい混信チャンネルとなってしまい、受信が難しい局となっていました。

他に、オセアニア MWDX 局としてはお馴染みの局ですが、ニュージランドの 1035kHz の NewstalkZB や、オーストラリアの 990kHz の 4RO も、日本の国内局を潰す勢いで聞こえていました。

朝食は、宿泊したペンションが用意してくれるのでゆったりと。でも、本来は一番、ワッチをすべき時間帯に聞いていなかった人達が、何故だか MW や SW での DX 局が聞こえないだろうと思われる、朝 8 時前後に熱心に DX をしています。

「なんで？」

その理由は強力な E スポの発生でした。沖縄がガツンと来ており、しかも AM 局の中継波が軒並み、並んで聞こえているとか。それが台湾局オープンにも流れ、FM 帯は DX 局の宝庫状態になっていた様子。

今回、自分は FM 用アンテナを用意していなかったのが悔やまれますが、参加メンバーの中には VHFDX 用の八木とそれを立てるポールを、なんと 2 セット。VHFDX 用の通信型 RX も持参していたメンバーもおり、集中していた様子でした。

ここ南房総では、マルチメディア放送チャンネルの信号が殆ど届いていないので、その周波数帯の DX 局も狙える。こればかりは、自分にとっては大失態となってしまう結果でした。

最後は、参加者皆で野島崎灯台へ。そこでも E スポでの DX 局を狙う人や写真撮影に熱中する人。ただ、風景を眺めながらもの思いにふける人と様々。その灯台をバックに集合写真を撮り、帰路へと付きました。

最後に、今回、初めて DX ペディションに参加してくれた JSWC メンバーの吉田さんの言葉を添えます。

「今まで、DX ペディションはレベルが高く（敷居が高く）て、自分のレベルでは到底楽しめるイベントでは無いと思っていました。ところが、バーベキューなどで、皆で楽しんで同じ趣味の友達を増やせる。ベテラン BCL からのノウハウも得られる。こんな楽しいイベントだったのを知らなくて、今までの BCL 人生を損していました。」

このペディを企画した側の自分にとっては、なによりも嬉しい言葉になりました。今後も、DX ペディションの企画をして行くつもりです。皆さんも、次回は参加されては如何でしょう。

VORW にまつわるエピソード

「世界の国のどこかから 日本のみなさん　こんにちは。
こちらは VORW　ラジオ　インターナショナルです。」

謎の日本語アナウンスについて、せきやま☆あすかさんにお聞きしました。。。

―あのアナウンスは頼まれたんですか？

☆いや、日本語のアナウンスがあったらいいなって音声ファイルを送ったら採用されたんですよ。

―いろいろと仕掛けてましたけど・・・ハンバーガーに対抗しておにぎりとか・・・・

☆今度はこんなことをやったらどうかとかね。
　韓国語、中国語のアナウンスとか考えていたんですけどね。プロのアナウンサーもいるし。
　遊び気分でいろいろと妄想しちゃったんですけど・・・

―放送、なくなっちゃいましたね

☆変調が浅いってレポート送ったらそれがきっかけになっちゃったみたいで、一時中止になっちゃったんでちょっと失敗したかなって後悔・・・・

―リスナーが参加して番組を作り上げるという意味で面白かったと思っていますけどね。
局がなくなったわけではないので再開を期待しましょう。

インタビュアー：南房総 pedi　参加メンバー
☆回答　Aska こと　せきやま☆あすか

今月の色紙

せきやま☆あすか

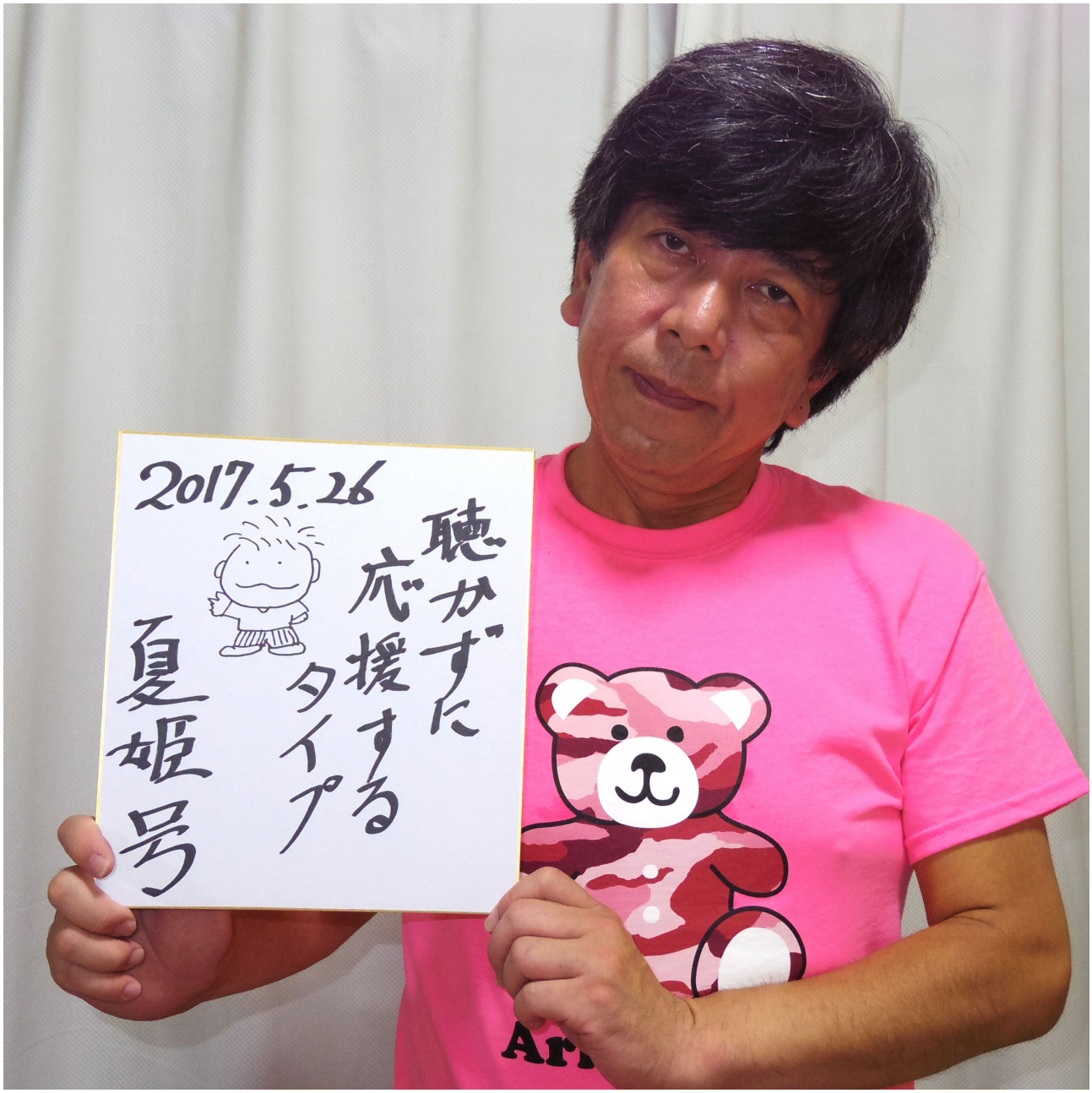
おそらくはBCL界で唯一の「BCLのサイン色紙」コレクターのぼくのコレクションをご紹介します。

ぼくの数少ないマブダチの一人、夏姫号さんです。

彼とは同い歳ということもあって20代の頃から親しい付き合いをさせてもらっています。

今は「BCL昭和40年会」の同志としてサポートしていただいています。ありがたいですね。

これからもご一緒に末永くラジオを楽しみましょう。



慎太郎通信

～国内民放中波局全局制覇への挑戦

KBS 滋賀局から問い合わせの返信が来ました。
1215kHz は 2 局って感じがしたのに、なぜか、「舞鶴局は存在しません」だそうです。
同封の番組表には、舞鶴局 1215 とあります。
指定の番組はないので、「20 分以上受信してください。」だそうなので受信して送ってみようと思います。
全国制覇間近なので、楽しみです。
和歌山放送は、LF ネットを受信したので帰ってくるか不安です。
（1431kHz の中で、LF ネットは、WBS だけだったので・・）30 日経ってます。

どちらの周波数も、RF ラジオ日本とニッポン放送の隣接周波数混信があるので、難しそうですが、とにかく頑張ります。

今日の朝、ラジオを外において寝てる間に録音してみました。
和歌山向きにアンテナを向け、ラジオ日本とは 70°くらい向きが違うのですがそれを聞くと、ラジオ日本の隣接周波数混信がかなり強いので、（尋常なほど強いです。）1431kHz の局がほぼ聞けません。
（5 時直前の”.0 MHz”とその時だけラジオ日本が弱くなったので、どこかの局が聞こえました。）

方角を見てみると、ラジオ日本と 70°違う方角に向けていると思ってましたが、
ラジオ日本の送信所は、北北東じゃなくて、東北東だったみたいで、和歌山が、西南西なので、向きが 180°違うので、ラジオのアンテナの向きが同じだったんですよ。
どこの方角に向けるのが正解なんですかね。
1431kHz は、ラジオ日本を弱くする方向にすると、ラジオ福島が入ってきてしまいます。

1233kHz も同様に、青森放送が入ります。
かすかに、1431 でも和歌山向きにすると、”岐阜か和歌山”が入ってはいるので・・・
難しそうなので、聞くなら、ラジオ日本は近くに送信所があるので、三浦半島（城ヶ島が理想）や、横浜駅周辺などの、川崎市幸区の南側のところで聞くことで、”隣接周波数混信”が抑えられる気がしますね。
そこで聞くのは難しいので、4km ほど南の祖母の家で聞こうと思います。（少しは自宅より方角が違うので混信を抑えられそうです。）

和歌山放送から、ネット番組の受信でしたが、ベリカードが送られてきました。
あと滋賀局だけですね。

ループアンテナ作りたいのですが、何度も、針金の張り具合がうまくいかず、失敗しています。
材料は、
・配線用のモール 2 本
・針金（ホームセンターで 300 円程度のもの）
・教会のバザーで入手した、
20 年ぐらい前のガラクタのカセットとラジオがついてるものから取ったバリコン
・ホットボンド
・ケーブル（豆電球ぐらいに使うもの）
・半田ごて
です。
うまく作る方法があったら教えてください。

それと、
今自分が使っている、
ポータブルラジオレコーダー
SONY ICZ-R250TV ですが、
7600GR と比べても、
同調検波がないのにもかかわらず、
青森放送受信などでも、
ラジオレコーダーのほうが、
3 倍以上すべての遠くの局が
よく聞こえます。
市販されているラジオの中で、
最もよく入る気がしますね。（自分的には）

ポリバリコン入手できました。
300 円でした。
あと、木などを買って、作ろうと思います。

ループアンテナが完成しました！
聞いてみると、横浜からでも、栃木放送がよく聞こえます。
夜になったら、どのくらい入るか　送りますね。
サイズは、
高さ 1m45cm
横幅　1m20cm ですね。
材料費　約 6000 円
夜が楽しみです。

アンテナを使用していると、
一番驚いたのは、1116kHz で、南海放送と新潟放送を完全に分離できたことです。
この動画は、南海放送と新潟放送を分離したときのものです。
トーク番組が南海放送で、野球中継が新潟放送です。
どの局聴くにも、前より明らかに良くなってます。東海ラジオやラジオ大阪、HBC ラジオなどがフルで良好に聞こえます。
地元局並なのは初めてです。
アンテナは、制作から使用まで、家から 4km 南のおばあちゃんの家です。
（家だと駅の隣のマンションなので、ループアンテナ作っても使えないので…）

いつものように、7 分ぐらい受信し、送ったところ、初めて、「20 分以上受信していないため、発行できません。　再度、番組内容等を詳細にご記入のうえ、20 分以上必ず受信ください」と帰ってきました…
次の集まりで全国制覇のベリカード持っていけなくなりました。
すいません。
他の局は、6 分聞けば発行してくれるのに…
8 月に集まりがあると思いますが、
13 日は山に登るため空いてないので、それ以外の日に開催なら、
参加して、全国制覇のベリカード持ってけいると確信しています。
よろしくお願いします。
次回の 6 月の集まりでは、KBS 滋賀以外の AM 局のベリカード持っていきます。

8 月の集まりは、8 月 10～13 で山に登りに行くので 13 日は、12 日の間違いです。
おばあちゃんの家に泊まりに行くまで、BCL は難しいかなと思いますね。
部屋の窓際に、37 型のテレビと、録画機 2 台（全部東芝）を自分の部屋の配置を変えた際においたため、 ラジオが聞こえない状況になってしまいました。

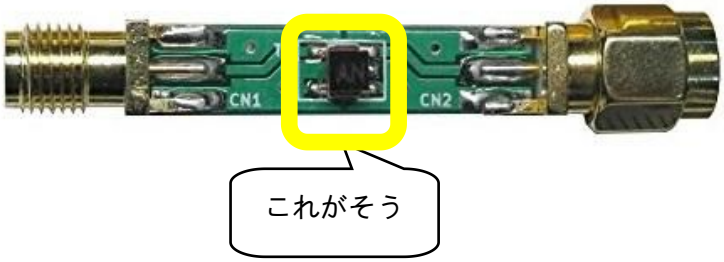
KBS 滋賀のカードを取得したので、
中波　全国制覇達成です。
今日届きました。
嬉しいです。

【ガルバニックアイソレータトランスを 1000 円くらいでなんとかしたい！】

何年か前くらいからガルバニックアイソレータトランスが流行ってるようですね。ＡＯＲなどから既製品が入手できますが、だいたい三千円以上します。失礼ながら作りもなんかちゃちだし、この値段だとちょっと躊躇してしまいます。
勉強がてら構造や原理をネットで調べてみたら、単純にトランスでアイソレートしてるだけのようなので、これなら自分でなんとかできる範囲だなと思っていろいろトライしてみることにしました。
よくある文献で見かけるトロイダルコアを使って自分でトランスを作るのが早そうですが、今までコイルを巻いたことがない人だとちょっと敷居が高いかもしれません。
となると、パーツショップで手に入る既成の部品で何とかするというのもありでしょう、自分で巻くより割高にはなりますが、再現性も高く性能もそこそこ安定しています、これならおすすめです。

さて、ここで使うトランスですが、ミニサーキットヨコハマという代理店から購入できます、意外に安いのと個人でも売ってくれるのがありがたいです、トランス以外でも面白い部品(RF アンプとか)がいっぱいあります。
http://www.mcl-yokohama.co.jp/special/transformers.html
自分はこの中から「T16-1-X65+　@360 円」「TT25-1-X65　@560 円」を選びました、周波数帯域幅と工作しやすい大きさなのがポイントです。さすがに表面実装のは老眼が始まった自分には辛いのもありまして。
ケースは SMA 用にタカチの SW50B(120 円)を、BNC 用に SW65S(150 円)をチョイスしてみました。

ちなみに、アマゾンでよく見かけるＳ社の超小型ガルバニック ･アイソレーターにはこの会社で売られている、「TC1-1TX+」が乗っています、残念ながらミニサーキットヨコハマでは不定期にしかお買い得品にリストされてこないので 20 個以上まとめ買いをするような人でないと入手はきついかもしれません。
ただ、中波帯より高い周波数でよければ「TCM1-1+(1.5～500MHz」が使えます、1 つ 100 円でお手軽です。



移動受信用小型中波用アンテナの実験

JF2ANB

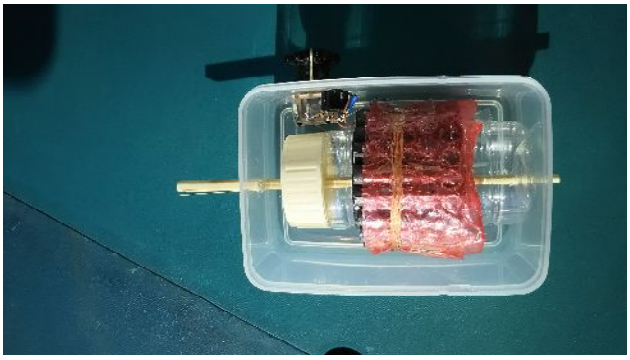
過去の Propagation 誌で Ultralight　DX　について取り上げられていますが、手軽に MW－DX をする工夫として、アンテナをいくつか試作してみましたので報告します。

　屋外での移動受信を前提に、コンセプトとして、「荷物にならない」、「軽い」、「小さい」、「運搬時に壊れにくい」ことを考慮しました。できれば「目立たない」も考慮します。

過去、TDXC の Propagation 誌で FSL や Magical Stick（マイクロパワー研究所）が紹介されていますので、まずは模倣した「もどき」を作成しました。「もどき」と称しているのは、必ずしもそっくり再現したのではなく、「適当に」アレンジしているためです。「適当に」という意味は、最適化したという意味ではなく、「同調はとれるはず」程度でアレンジしたという意味です。

①FSL もどき

10x50mm のフェライトバーを 20 本、焼酎のワンカップの容器の外周に並べました。フェライトバーの取付けには、厚めの両面テープを使って固定しています。フェライトバー群の上にプチプチを巻いてその上にコイルを巻きました。コイルは、手持ちのフェライトバーアンテナをほどいたリッツ線を使用しました。ほどいた線の長さ分を巻き終わると、ポリバリコンでほぼ中波の同調範囲となりました。
ポリバリコンとの組み合わせで同調範囲が中波帯をカバーできるように試行錯誤して巻き数を調節しています。
なお、10x50mm のフェライトバーは aitendo で購入しました。



②Magical Stick　もどき

10x180mm のフェライトバーを 6 本束ねて使用しました。水道工事用の塩ビ管（外径 37mmx250mm）に収めて、約 0.2mm のエナメル線を 38 回巻いてコイルとしました。フェライトバーはシオヤ無線で購入しました。

100 円均一ショップで売っていたパスタ入れがちょうど良いサイズだったのでケースとして利用しています。

試作中に、同調がクリティカルなことがわかったので、バーニアダイアルを使用しています。ポリバリコンの軸そのままではバーニアダイアルの取付けができないので、aitendo で販売している延長シャフトを取り付けています。
余談ですが、この延長シャフトは普通のツマミを使用するときに利用できるので便利です。①の FSL もどきにも使用しています。
（写真）

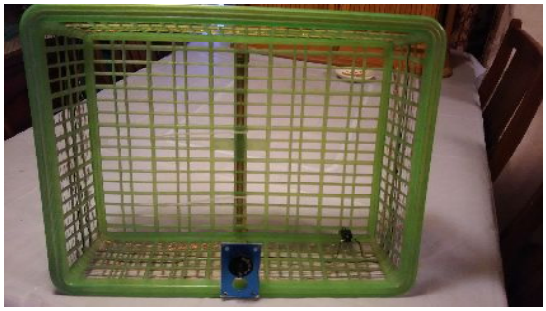
ポリバリコンの取り付け用金具には、市販品で良いものがなかったので、アルミ板を加工して取付け金具を作成して利用しています。

③エアーループ

フェライトバーを使用しないループアンテナです。ループアンテナとしては１ｍ角 6 回巻きのものが有名ですが、その小型版です。

１ｍ角では簡単に運搬できませんので、運搬できる程度の大きさで考えました。

プラスチックのかご（260x350mm）にエナメル線を 17 回巻いています。2 連ポリバリコンをパラで使用して中波帯での同調が取れるようにしています。(写真)



使用方法

同調を合わせた後、信号が強くなるように（あるいは混信が少なくなるように）アンテナの向きを変えます。また、ラジオの内蔵フェライトアンテナと誘導結合で使用しますので、ラジオをアンテナの近くに置いて使います。

比較

PL-310ET を使用して信号強度の数値で比較しました。

受信地：静岡県伊豆の国市　　数値は PL-310ET での信号強度 dBμ

受信時刻　2017.2.19　0900JST 前後

	729kHz NHK 名古屋 1	765kHz 山梨放送	1134kHz 文化放送	1242kHz ニッポン放送	1422kHz RF ラジオ日本	1557kHz 静岡放送
a	-	27	15	27	23	15
b	17	30	23	30	27	19
c	22	35	27	41	33	28
d	29	41	32	42	43	33

a:内蔵バーアンテナのみ、b：①FSL もどき、c:②Magical Stick　d:③ループ

感度的には　①＜②＜③となりました。

FSL は、Propagation で引用している文献によりますと５インチで１ｍ角のエアーループと同等の感度とのことですので、この大きさ（　75mm ≒３インチ）では感度が低めなのは想定されるところです。

実際の受信での効果

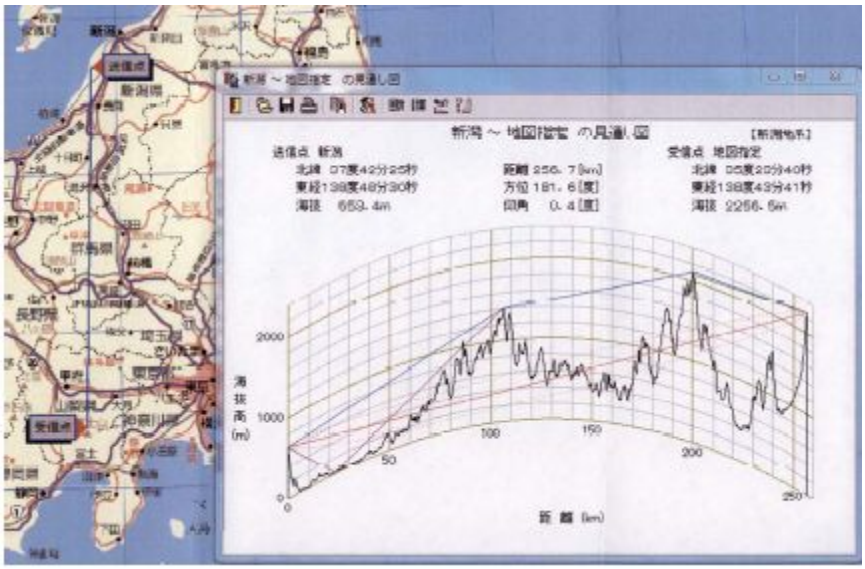
実際に PL-310ET と②あるいは③の組み合わせで、早朝 5 時頃の 1512kHz の DYAB を受信することができました。また、18 時頃に 850kHz の KICY も受信できました。（受信地は東京都内；荒川河川敷）

富士山5合目でのFM補完放送遠距離受信

・ 日時：2015年10月21日6時～9時
・ 受信場所：山梨県南都留郡鳴沢村
・ 標高：2,256m
・ 受信機：SONY ICF-SW55
・ アンテナ：日本アンテナAF-1-SP
【目標】
東海エリア及び新潟のFM補完局を受信する。

【受信結果】
・東海エリアは距離も近いため、外部アンテナなしでも受信可
・新潟は途中の山の影響により若干弱い。
また、東海ラジオと周波数が隣接の為、ラジオ付属ロッドアンテナでは隣接のカブリで受信が厳しかった。

↓BSN からの返信に、送信所からの見通し図が送られてきた。



放送局名	周波数	SINPO
BSN ラジオ	92.7MHz	35453
CBC	93.7MHz	55555
東海ラジオ	92.9MHz	55555

※東京でのFM補完放送開始前の状況です。

富士山五合目（富士宮口）で和歌山放送の補完局受信

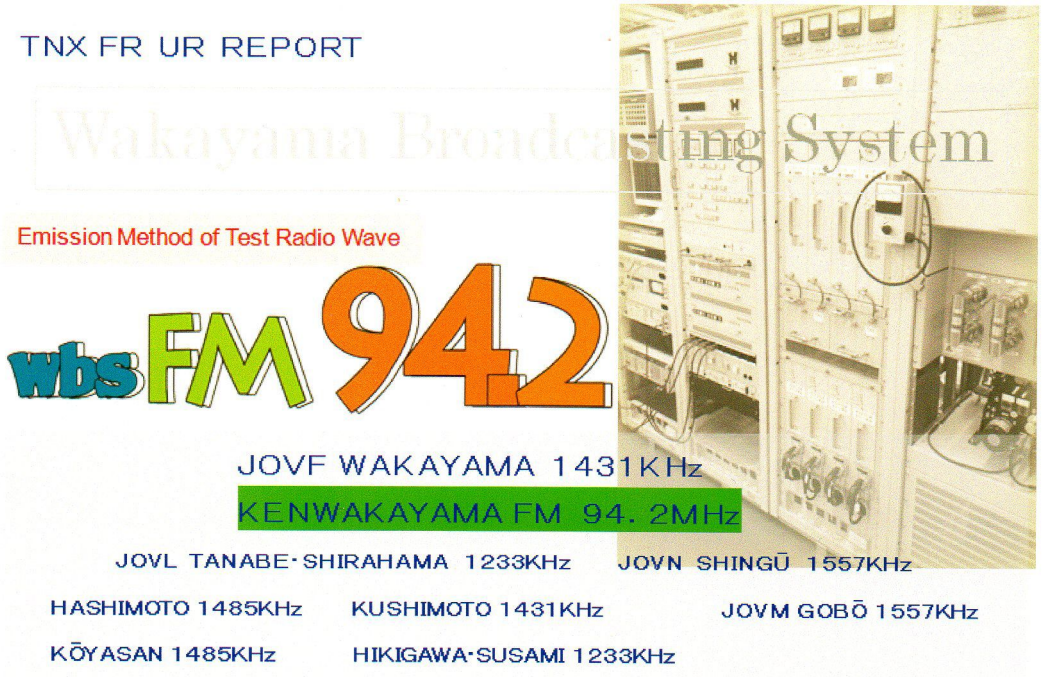
JF2ANB

富士山がどこまで見えるかについては、和歌山県那智勝浦が見える限界との報告があり、光と同様に直進する VHF 電波でも和歌山 - 富士山のルートは通信可能と推測しました。また、経路上も高い山はなく富士山でも山頂でなく富士宮口五合目で受信可能かと思われましたので、山開きを待って早速五合目まで足を運びました。

　実際に受信してみますと、確かに 94.2ＭＨｚで受信できました。当日、あいにく中国からの電波による混信につぶされることもありましたが、受信できました。
ベリカードもいただきました。

受信日　　2016 年 7 月 16 日(土)　　１０：５０－１１：０５
周波数　９４．２MHz
受信地　　富士山富士宮口五合目　（静岡県富士宮市）
受信機　　DEGEN　DE-1103
アンテナ　ポータブル　１／２波長ダイポール

アンテナと DE-1103

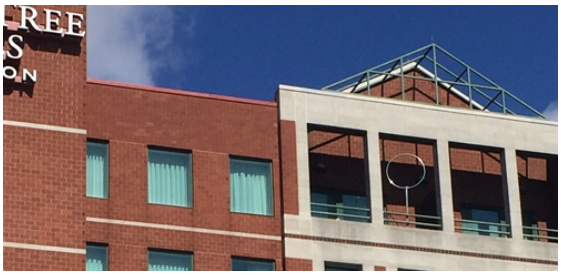


和歌山放送のベリカード

第 30 回 NASWA - Winter SWL Fest！

AB5MF (JHØBDK) 尾原　栄（米国ニュージャージー州駐在）

2017 年 3 月 2〜4 日の 3 日間、NASWA （北米短波連盟）主催の Winter SWL Fest がペンシルベニア州プリマスミーティング市にある Double Tree ホテルで開催されました。今年は 30 回記念、日本人の参加は私と JSWC 大武理事の 2 名です。全参加者数はだいたい 100 人強ぐらいかと思います。



← 会場の DoubleTree ホテル。

着いて上を見上げたら既にバルコニーには怪しげなループアンテナ が。

家から車で 2 時間程度の便利な場所。Winter SWL Fest もこれで 4 回目の参加です。昨年の Fest ではディナーの時に隣に座った人から 「一度日本の事情も話してくれないかなあ」 と言われ、今年は 30 回記念だし JSWC としてもずっとブースを出しているわけで、さすがにそろそろ日本からも出し物をした方がいいんじゃないのと思っていたところでした。　特に 1970 年代の BCL ブームは世界的に見ても特異なことだろうし、日本製の高性能受信機がいつも表に出るのに実際の SWL の現状を知ってもらう機会はあまりない..

ということで、今年は思い切ってフォーラム講演を申し込むことにしました。　大武理事とも相談して JSWC を代表してという形をとらせていただき、「SWLing in Japan - Past, Present, and Future （日本の SWL 事情：過去・現在・未来）」 と題して講演。 とは言っても実際は私自身の体験話を勝手にするだけです（笑）。 内容の独断と偏見はどうぞご容赦を...。

今回のフォーラムは自分のも含めると 17 演題（以下）。

- **Broadcast Towers I've Known and Photographed** - Scott Fybusha 氏　- 送信所の訪問記
- **Radio on the Road** - Janice Laws 氏, Steve Karlock 氏 - 世界各国の旅と SWL
- **Getting Started with RTL-SDR** - Dan Srebnick 氏 -　SDR ドングルによる VHF 受信
- **Radio 101 – The Past, Present and Future of Radio for Newbies and Significant Others of Radio Geeks** - Charles Hargrove 氏　– 歴史の話
- **What's Up at RFA** - AJ Janitschek 氏 – Radio Free Asia の近況

「重大発表あり」と予告があったのでなんだと思ったら Fest 30 周年記念 QSL のアナウンスでした。→

● **Internet DXing** - Tracy Wood 氏 – 世界のネット放送の人気局紹介（結構人気でした）

● **Pirate Radio Year in Review** - George Zeller 氏 – パイレート局近況

● **Going Digital: Better Scanning in the 21st Century** - Tom Swisher 氏 – デジタル受信

● **Farewell to the BBG: What's Ahead for U.S. International Media and the VOA** - Dan Robinson 氏 - VOA と米国対外放送の事情

● **Defining Radio in Software** - Mark Phillips 氏 – SDR ソフト

● **Zenith 'Long Distance Radio' and the Highway to DXing** - Harold Cones 氏 – 歴史の話

● **Broadcast FM DX** – Russ Edmonds 氏 – FM DX のノウハウ

● **Pirate Radio in Continental Europe – A Personal View** - Andy Walker 氏 – 欧州海賊局

● **Espionage and Numbers Stations: Behind the Numbers** - Matt Blaze 氏 – 乱数放送

● **Collective Intelligence, Augmented Technologies and Super-Dark Denim** - Mark Fhey 氏

● **A 30 Year Retrospective of the Fests** - Thomas Arey 氏 – SWL Fest の回想

テーマは短波に限らずとても多岐にわたっているようです。

さて、日本の講演は以下のように配布資料に紹介されました。（swlfest.com より）

****

SWLing in Japan: Past, Present and Future – We are pleased to welcome once again our friend Toshimichi Ohtaké, joined this year by Sakaé Obara, representing Japan Shortwave Club (JSWC) and discussing the current state of the hobby there. SWLing was very popular among teenagers in the country during 1970s-1980s, and that influences the hobby still today.

****

私たちの講演は 3 日目のトップ。　はじめに大武理事がご自身の経歴や当時 VOA や BBC で英語を習得されたエピソードなど、そして JSWC の沿革について説明をされました。 その後は私のプレゼンテーション。　全部で 1 時間みっちりの講演となりました。

私が話した内容はだいたい以下のような感じです。

****

講演内容要旨

SWLing in Japan - Past, Present, and Future

（日本の SWL 事情 - 過去・現在・未来）

****

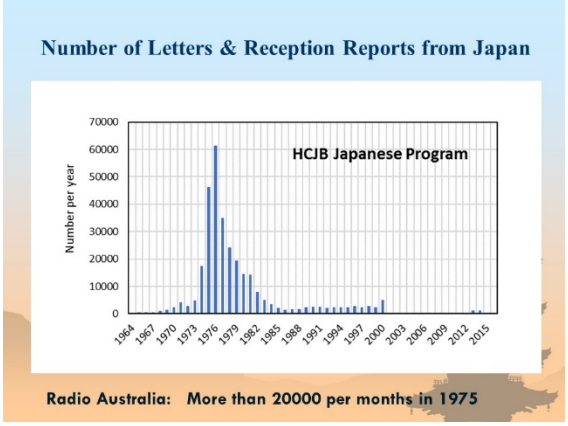
こんにちは。　私は現在仕事で米国と日本を行ったり来たりしていますが、初めて短波と出会ったのは小学生の時、親から買ってもらったラジカセにたまたま短波帯が付いていたことでした。 ちょっとダイアルを動かすと音が飛んでしまい、なんて不便なんだろうと思ったのですが、日本語放送でモスクワとか北京とか遠くの放送が聞けるのにびっくりしたのがきっかけです。　大武理事と同様、私も短波受信で外国語を学んだようなものです。　だって当時の日本の英語の教科書で最初に習う文は 「This is a pen.」 なんですよ。 私はこの文をこれまで一度も会話で使ったことはありません （会場笑）。 ちなみに２番目の文は何だと思いますか？　「This is a pin.」 だったんです （会場爆笑）。　いかに当時の英語教育がヘンだったかお分かりでしょう。 反対に米国でもちょっと気になる日本語が時々見られます。 Tsunami はいいとして、Teriyaki や Hibachi はちょっと元の意味と違うみたいなんですけど。 あ、そうそう Karaoke の oke は英語のオーケストラから来ていることはご存知でしょうか。

電気関連の日本語といえば Radio はラジオ、Antenna はアンテナと英語がベースですが、Shortwave はフロリダ州の都市の名前と偶然同じタンパ (会場笑)。　ホーソーってわかりますか？ Boadcasting のことです。 NHK は何の略か覚えてくださいね。 ちょっとおかしな言葉としてパソコン...これは Personal Computer から来ています。 面白いでしょ。　最近の極めつけは「スマホ」 です。これって何かわかりますか。 Smart Phone ですよ （会場驚愕）。　言葉って面白いですね。　なぜこのような話をしたかというと、実は日本には独特の SWL の専門用語が２つほどあるんです。

一つは 「BCL (Broadcasting Listener)」　という言葉。まあだれもがテレビやラジオを聴取するでしょうから普通の人は皆 BCL になってしまうんですけどね。 でも日本ではこの BCL という言葉が米国でいう SWL とほぼ同じ意味で使われるんです。　それから 「ベリカード」 っていう言葉があります。 「ベリ」 って Verification から来ているんですよ （会場大ウケ）。これはご想像の通り QSL カードのことなんです。

1970 年代半ばから 1980 年代にかけて、日本では BCL ブームとなり、その中心となる世代は当時の私のような中学生でした。　どうもラジオメーカーのマーケッティング戦略が発端ではないかと思っています。　その土台として深夜放送ブームなるものがあり、皆夜になると遠方の放送が聞こえることは経験していました。　各メーカーから BCL ラジオと称するものが続々発売されました（ラジオの写真見て会場から歓声）。　ラジオの専門誌でなく一般雑誌にも受信報告書の書き方が載ったりして、学校ではクラスメートが QSL カードを持ち寄り見せあったりしていました。 地方で開かれたイベントには 1000 人もの参加者、その殆どが中学生。 HCJB はピーク時には年間 6 万通、ラジオオーストラリアに至っては月 2 万通の手紙を日本から受け取っていたそうです (会場驚愕)。 日本短波放送 (NSB) などからは各ラジオメーカーの提供で BCL 番組がほぼ毎日のペースで放送されました。　毎日ですよ！ ユニークなのは有名なアニメ声優が番組ホストをしていたことです。

この時期に日本 BCL 連盟が設立。 私はてっきりブームのおかげで設立されたと思ったのですが、実際ブームは偶然だったのだそうです。　ブームのおかげで会員数は一気に伸び、そしてブーム終了と同時に会員数が激減、再編成を余儀なくされやがてフェードアウトとなってしまいました （会場から惜しむ声も）。　BCL 関連の雑誌や専門書も沢山出版され、またその時のライターをつとめてられていた（故）山田耕嗣さんという 「BCL の神様」 と呼ばれている方がいます （会場驚愕）。 その方の誕生日が現在 「BCL の日」 とされていて、短波放送局で特別番組も放送されます。



最近の日本の BCL (SWL) 活動事情ですが、ブーム当時の短波ファンが徐々に戻ってきているようです。 全国区の JSWC のほか、名古屋の NDXC や横浜の TDXC といった地方グループもアクティブです。 TDXC は年刊の Propagation 誌の発行（ブースにあります）や、中波 DX を中心にペディションなどの活動をしています。　また個人でもアクティブに活動されている方が沢山います。　たとえば青木茂紀さん。 苗字の Aoki を見てピンとくるかと思いますが、有名な Aoki List の作成者。 リストの情報は実際に受信して確認することをポリシーとされ、そして何と更新はほぼ毎日。 作業はすべてお一人でやられているそうです （会場驚愕）。　また比較的若手では関山さんが 「BCL は趣味の王様」 というサイトを立ち上げ、秋葉原 BCL クラブやミーティング、KTWR 同時チャットのようなユニー

クな活動をされています。 数少ない英語サイトとして小松原さんの「Now On The Radio」 という日本最強の DXing ポータルサイトもあります。

私自身の活動も紹介しますと、音源クリップのブログをやっています。このホビーに久しぶりに戻ってきた時の印象ですが、何といっても昔にくらべてノイズがとても多いということですね （会場激しく同意）。 そこでノイズに強いループアンテナのお世話になるわけですが、Wellbrook 社製品の見積もりを見たらちょっと引けてしまい、個人ベースで開発されている影山さんの⊿LOOP とか、橋本さんの BCL-LOOP を愛用しています。 これらはブースでも展示していますので見に来てください。

日本最長の歴史を誇る JSWC も健在で、ハムフェアでブース展示やミーティング、また AWR の Wavescan でのレポートや特別 QSL の発行も行っています。 先日は HCJB のリスナーの集いもにぎやかに行われ、高校生リスナーも参加しています。 日本の SWL (BCL) 界の未来はブーマーの復活組、そして若手も必ずいるということに注目すれば暗いものではないと思います。 今後とも日本の BCL をどうぞ応援してください。ご清聴ありがとうございました。

*****（講演終了）**********

仕事でやるプレゼンテーションと違うのは、皆リラックスしているというか、講演中笑いはもちろん、驚いたりする反応とかよくしてくるのでとても楽しんで話ができたことです。 講演後、沢山の人たちから 良かったよ と声をかけていただき感激しました。

講演で寄せられた質問をいくつかあげると:

･日本にパイレート局はないのか。欧州のパイレートを狙うツワモノはいないか。（海岸にビバレッジを張って狙っている方いますよね。）

･ソニーやパナソニックはラジオの博物館を所有していないのか。（ソニーは最近イベントとしてやってましたね）

･中波 DXing のペディとかは受信報告書をちゃんと出してるか。知ってる局の話ではフィンランドからしか届いていないと言っていたが。（どうなんでしょう）

･VHF-DXing ではどのエリアがよく聞えるか。（E スポで中韓露ですかね）

･昔さわった受信機でコバヤシというメーカーの AS-** というものがあったがとてもよい受信機だった。 もう作っていないのか。 （私は存じ上げてなく、後で聞いたら小林無線の AS-76 という受信機のようですね。 詳しい方いらっしゃいますか）

･当時日本短波放送 (NSB) 聞いていたら英語だったのだが、そのような番組やってたか。（おそらく百万人の英語か Tokyo Forum でしょうね）

･当時 サンフランシスコ KGEI の日本語放送が朝よく聞こえていたが、日本では夜の放送か。（そうそう、夜のいい時間に放送していて私もよく聴いてました）

質問はかなりマニアックでした。

ジャパンブース

今年は例年の JSWC 会誌と NHK World スケジュール表の他、昨年ちらりと展示して人気だった戸塚 DXers Circle の Propagation 誌と関山さんの「BCL は趣味の王様」誌、また影山氏開発の Δ-LOOP、橋本氏開発の BCL-LOOP などのデバイス（いずれも私が最終製作したもの）をすべて展示。日本のラジオホビーパワー全開です。おかげで結構声をかけてもらえていろいろと話ができました。

その他のアトラクション

David Goren 氏によるラジオ番組 「**Shortwave Shindig**」の公開中継は今年はニューヨークのコミュニティ FM 局 Wave Farm Radio (WGXC) と協賛で 3 時間もの長丁場。サイレントオークションは例年より規模拡張。そしてホスピタリティールームではいつも通り夜遅くまでラジオ談義が繰り広げられます。

ディナー後のメインイベントである大抽選会は何と特賞は ICOM の IC-7300。これにはびっくりです。いつもながら自分には何も当たりませんでした（笑）。ところでこの抽選会、チケットに自分の名前もしくは何か自分を確認できるものを書き込んで抽選箱に入れるのですが、抽選で読上げられるのはほとんどがアマチュア無線のコールサインです。SWL の祭典ですが皆さん無線の免許も持っているみたいですね（私もそうですが）。

後日談

イベント終了後、参加者のアメリカ人の方からメールがあり、私のプレゼンスライドにあった秋葉原の中古 BCL ラジオを展示販売している店（山本無線 e-Box）の写真を見てぜひそこに行きたいとの連絡がありました。ラジオセンター2階のその店までの案内（これが結構複雑）を詳しく地図入りで作ってメールしてあげました。後でその人からお礼の連絡があり、とても感銘を受けたそうで回りの店でも部品を沢山買い込んだとのこと。やはり地図なしではたどり着けそうになく、また公共交通機関や街の綺麗さ、日本人の親切さに驚愕したとの感想でした。

念願のアイボール!

秋葉原 BCL クラブ会員の佐藤喜仁さん(左)と、さかいけんじさん(右)がアイボールされた時の素敵なお写真です。

お二人ともいい笑顔ですね。しかも男前！

ラジオは一人でも聞けますが、友人がいると何倍も楽しいです。

これからも仲良く、末永く BCL をお楽しみになってくださいね。

このコーナーではみなさまのアイボール写真を募集しています。　　せきやま☆あすか

BCL との出会い

岡田慎太郎

自分が BCL を始めた経緯を説明したいと思います。

まず、小学 6 年頃には　いつも聞いてる番組がありました。

その当時は、SONY の古い名刺サイズのラジオを使っていました。

一番の転機となったのは。中 1 頃に教会であった、バザーに行ったときに、奇跡的に、教会の人は価値がわからなかったらしく（中身はほぼ新品ですが、箱はボロボロだったので・・・)、定価 6 万円の ICF-SW07 が、300 円で販売されていました。

買ったときはラジオだとはわかったのですが、箱に海外のホテルらしきところでラジオを聞いているのが書いてあったので、損はしないと思い購入しました。

近くにいた大人の人に型番で検索をしてもらうと、「54,000 円だよ」と言われ、めちゃくちゃ驚いたのを覚えています。
その頃は　BCL をしてはいなかったのですが、短波というものを初めて知ったので、すごく興味を持ち、短波を聞きまくりました。

適当にチューニングの“+”と“—”を押していただけでも、今まで AFN の英語しか聞いたことがなかったので、朝鮮語（確か当時、キム・イルソン　かなんか聞こえたと記憶しますが）や、中国語、韓国語などがすごく聞こえて、すごい新鮮でした。

それと同時期に、そのときは冬至近かったので、6 時前に適当に AM ラジオを聞いていたところ、　ニッポン放送を聞いていて“+“を 10 回かちょっと押した際に、偶然、「山陽道が福山から　？　km 渋滞しています。」と聞こえてきました。その時は　広島の 1350KHz 中国放送を聞いていました。

それがきっかけで、遠くの局を聞くだけ聞いていました。(その時は BCL はまだやっていなかったです。)

ある日は、「OBC　ラジオ大阪♪」と聞こえたり、月曜の早朝に起きて 1242 に合わせ、「緊急警報放送の試験電波を送信します。（警報放送終了の音)」と聞いたり、すごく楽しかったのを記憶しています。

その生活が 7～8 ヶ月続き、「ラジオマニア」という本があることを知り、中 2 の 7 月に購入しました。

そのときに、『ベリカードを集める』という楽しみ方を知りました。

それから、ベリカードを集めるようになりました。

一番最初に、送った局は、「CRK558　ラジオ関西」と「1242 ニッポン放送」を聞きました。

すぐ、ラジオ関西は、返信が帰ってきて、すごく嬉しかったです。

その頃は、近くの局と、聞きやすい局（例えば、OBC、SF、KNB、RKB 等）をまず聞いて、そのときにはいいラジオを持っていたので、同調検波を使い（そのときには、ネットの情報で仕組みを知りました。)

まず　KBS 京都を聞きました。

意外と聞けるなーと思ったのを覚えてい

ます。

　次に、無混信で　弱電界の局を聞きました。
　どうしても環境が悪いので、聞こえた単語を　受信報告書に記載すると、きちんと返信が帰ってきました。
　それをきっかけに、多数の局を受信していきました。

1年以上、繰り返し、多数の局を受信しました。

　ですが、当時の南海放送のように、南海放送は放送しているけれど、混信元の新潟放送が停波している局は可能でしたが、宮崎、熊本、長崎のように、混信してくる局より、聞きたい局が先に放送を終了してしまい局は、受信できませんでした。
　その時は、中学3年なので、祝日の月曜ではない、代休の月曜があって（祝日の月曜は、放送休止の時間が違うことが有るので）そのときに、日曜の午後11時から、午前5時まで起きてラジオを、祖母の家で聞けば、聞けるかもと思い、実践しました。
そうしたら、
・琉球放送（738、普段は、FBC混信）
・長崎放送（1233、普段は、RAB、隣接のLF混信）
・熊本放送（1197。普段は、IBSなど、多数の中継局も混信）
・宮崎放送（936、普段は、ABS混信）
の4局が聞けました。
しかも、驚いたことに、4日後に、全局が同時に届き、今までで一番嬉しかったです。

　その後は、ネットで、ベリカードのデザイン変更があったときに受信する感じでした。
　2016年の秋に、HCJBのリスナーの集いの、ポストカードが、届き、参加したところ、偶然、関山さんに出会うことができました。そのときにBCLの集まりが有ることを知りました。
　1～2週間後に、正式に加入をし、
昨年の12月に、秋葉原の集いに参加したときが、一番楽しかったと覚えています。
集いに参加しているときが、もちろん楽しいのですが、それ以上に、ＢＣＬのことを相談できる人がいることが、一番恵まれていたと思います。

その後、知識を教えてもらい、どうにか、和歌山放送が受信でき、5月に、関山さんのアドバイスも受け、ループアンテナを自作しました。

　その時はすごく楽しかったです。
　作ったあとに、ICZ-R250TVに繋いだときに、今まで感じたこと無いぐらいの、指向性の鋭さに、ものすごく感動しました。
新潟放送と、南海放送を分離できたことは、かなりの衝撃でした。

　その際に、KBS滋賀も受信しましたが、多数の局を受信してきた中で、初めて、20分以上受信しなければいけないという、縛りがあったのです。

　その状態で、6月の集いに行くと、「全国制覇楽しみにしていたのに」と多数の人から言われ、それではいけないと思い、集い

の次の日に、録音タイマーを入れ、日曜の23：30～月曜の午前0：10までをすぐ録音しました。（その時は、月曜に学校があったので、家でした。）

そして、学校には、登校時間の40分前には行くので、その時間を利用して、受信報告書を書きました。

すぐ送り、1週間ぐらいで返信が来ました。

その時は、ものすごく嬉しかったです。（SDRが、もしかしたら、早くもらえるといいなーと考えたのもありました。）

7月の上旬に、SDRを、予定より1ヶ月も早くプレゼントしてもらい、

次の金曜に泊まりに行き、聞きました。そうすると、中波が、全部波形となって出てくるので、すごく感慨深かったです。

とりあえず、中波丸取りをしたのですが、今まで、祖母の家は、雑音が少ないと思っていたのに、スパイダータイプの高性能過ぎるアンテナのせいで、雑音を結構拾うので、友達は、19時の第一放送の呼出符号聞こえるっていうのに、聞こえませんでした。ですが、夜が更けてくれば、電波は強くなるので、第二放送はきちんと聞こえます。

580～790khz付近に、ずっと雑音が居続けるので、少し大変です。

でも、今までよりは、明らかに、趣味がやりやすいので、SDRはとても喜んで使っています。

それが、自分の、BCLライフです。

使用受信機

SONY

ICF-SW07（超高性能　短波受信機）

ICF-SW7600GR（高性能受信機、ですが、下記のラジオレコーダを購入した際に、上記のラジオと2台あることで、使わなくなったので、同じ趣味の友達に貸しています。）

ICZ-R250YV（ラジオレコーダー。AM,FMの性能は、上記の2つよりかなり良いものです。）

使用アンテナ

“FM”

AF-1-SP（自宅ベランダ用）

AF-220（室内用）

AF-4（祖母の家用）

“AM”

自作、スパイダーコイルアンテナ（縦140cm、横　120cmで、エナメル線48m使用の超大作）

010-292Z（3000円程度で購入できる、簡易ループアンテナ。今は、自宅でSDR使用のときに、出力のミニジャックの線を途中で分けて繋いでいます）

我が受信ライフを振り返る

JP1KQH/捧　克之

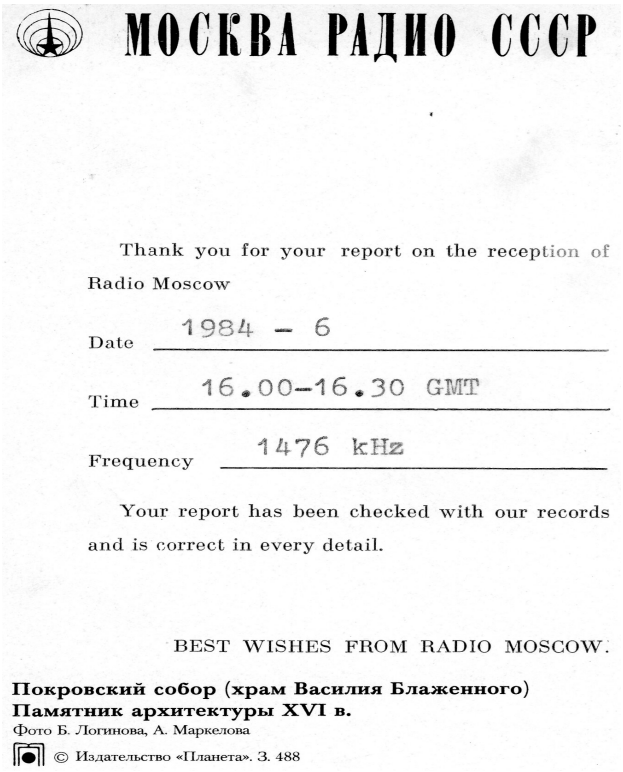
１・始めたきっかけ～全盛期？

正確には思い出せないのですがそれは確か小学校高学年くらいの頃だと思います。ラジカセで 1242KHz のニッポン放送でビートルズの「Come Together」を聞いていたときに少しダイヤルがずれて 1251KHz で今は無きモスクワ放送が聞こえたのでした。これがきっかけでラジオの遠距離受信に興味をもち始めたのです。

中学生のころになると何を見たのか忘れましたがラジカセの裏蓋に穴を開けてバーアンテナにコードを巻き付けて、5m くらいの簡易アンテナを作って遠距離受信を楽しんでいたのでした。東京の足立区に住んでいましたが当時は 1530KHz の栃木放送も十分遠距離受信の類いでした。ただ、足立区でぴんと来る人もいらっしゃると思います。そうです、ここは文化放送の「オバケ」が出るのです。今はひかり電話にしたので大丈夫ですが昔は加入電話で文化放送が聞こえたのです（笑）

高校に入ると、お祝いに八重洲の FRG-8800 を買ってもらい、ますますのめり込んでいきます。アルバイトも始めて、SONY の ICF-7600D を秋葉原の今は無きカクタ X-1 で買いました。（「今は無き」が多いですね）

この頃になると幽霊でしたがいくつかのサークルにも所属していた覚えがあります。KDXC とか、ソビエト専門の URSC 等・・・。毎月 8 日は唯一の BCL の情報誌「月刊　短波」の発売日で、インターネットなんて無かった時代、毎月楽しみにしていたものでした。


МОСКВА РАДИО СССР

Thank you for your report on the reception of Radio Moscow

Date 1984 – 6

Time 16.00–16.30 GMT

Frequency 1476 kHz

Your report has been checked with our records and is correct in every detail.

BEST WISHES FROM RADIO MOSCOW.

Покровский собор (храм Василия Блаженного)
Памятник архитектуры XVI в.
Фото Б. Логинова, А. Маркелова
© Издательство «Планета». З. 488

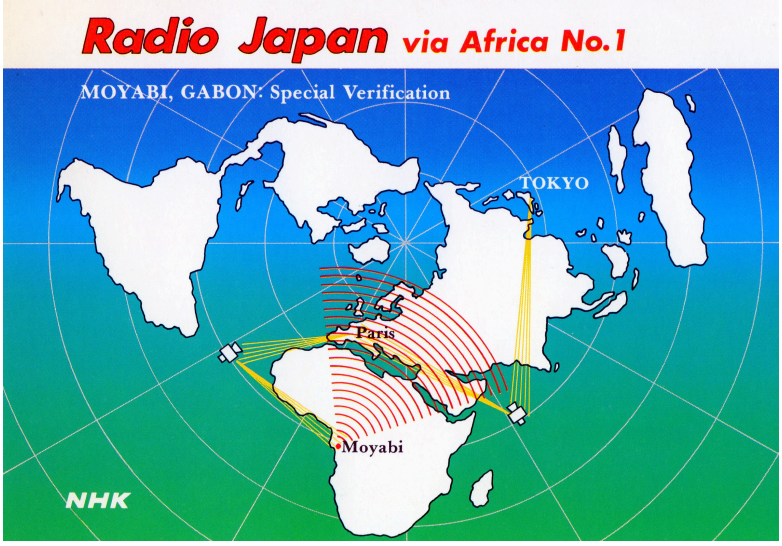
←当時ゲットしたモスクワ放送の QSL。この周波数だと恐らく朝鮮語のプログラムにレポートしたもの。

←筑波で開かれた科学万博のために期間限定で開局したラジオきらっとの QSL。
今のように FM が一般的でなかったので中波で開局したと聞いたことがある。
放送期間は 1985/3/1～1985/9/16 まで。
出力は 1KW。
送信所は茨城県の守谷にあった。

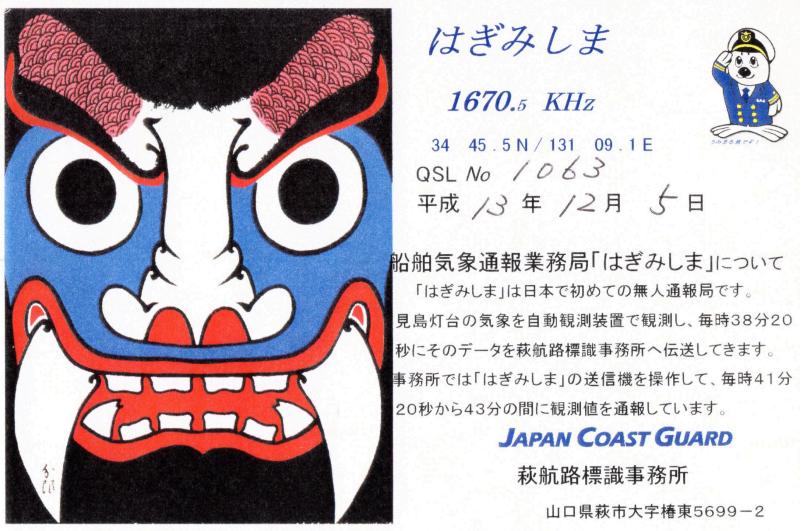
２・全盛期以降～

月刊短波も休刊（廃刊？）になり、私も働き始めて、だんだん忙しくなってきて、ラジオからは離れていくようになった。ただそれでもラジオを聞くことは日常の生活の一部になっていたので短波等は聞かなくてもラジオだけは聞いていた。今でもよく覚えているのは残業の帰り道に聞いた北朝鮮の乱数放送。深夜 0 時過ぎ、歩きながらポケットラジオで聞いた 657KHz。あの不気味さは忘れられない。

↓基本的に国内からの受信報告には QSL を出さないラジオジャパンが特別にガボン中継を始めた 1984 年に発行した QSL。



また、この頃アマチュア無線（電話級）の免許を取り、無線機を受信改造して（決して送信改造はしていないですよ）警察や消防無線をよく聞いていたものでした。
この頃から軸足はV・UHF帯の業務無線に移っていくのですが、やはり中波とか短波は忘れられず、細々と聞いていたものです。
1476KHz のモスクワ放送の送信所から放送していたオウム真理教の放送などが記憶に残っています。



←業務局になりますが今は無きいわゆる灯台放送局の QSL。

残念ながら私のミスで全局受信はしたものの、全局 QSL はゲットしておりません。悔やまれます。

３・これから
ひょんなことから SNS を通じて昔いたサークルの方とまた繋がり、こうして記事を書かせて頂いてるのは何かの縁だと思う。人生後半戦に入った今、またこの趣味を楽しんで行きたいと思う。

←2017年に15年ぶりに E スポで受信してゲットした FM 沖縄の QSL

私の BCL ライフ年表「楽しみ方の変遷」－ 43 年の足跡

1974 年　学研の「中 1 コース」という雑誌で BCL の記事を見つけ、SONY のラジカセ、studio1700 で BCL を始める。最初はベリカード収集を楽しんだが、後に難局受信にチャレンジし、多くの感動を味わう。

1975 年　最初に「国内民放中波局の全局受信」にチャレンジ。（約 3 年間）
（九州の数局は高校の修学旅行で現地受信、なお沖縄の極東、R.沖縄、NBC 佐賀局、KBS 滋賀局を残すが復活後に受信達成）

1976 年　スカイセンサー 5900 を購入し、12 メガ以上が受信出来るようになる。
第 2 弾として「海外の日本語放送全局受信」にチャレンジ。（約 2 年間、アルゼンチンの RAE が最後）海外の日本語放送ベリ第 1 号は「モスクワ放送」、この頃から月刊短波誌に投稿し始める。日本語放送以外の海外局受信もほぼ同時並行で始める。

1977 年　自身初となる通信型受信機、八重洲 FRG-7(FINE TUNING 付後期 Ver.)を購入。

1982 年頃　旧日本 BCL 連盟に入会し、城南ミーティング（東京・目黒）に初参加。

1984 年　初の海外現地受信を楽しむ。（ヨーロッパ 10 ヵ国に旅行、約 1 ヵ月滞在）R.ルクセンブルク、南ドイツ放送、R.アンドラ等を受信。イタリアで R.ルクセンブルクが中波でガツンと入ったのに驚く。当時の日本でいうモスクワ放送のような強さで入感。

1986 年～1992 年頃　社会人になり、仕事の多忙等により約 6 年間活動を休止。

1993 年　BCL 復活、リサイクル店でクーガ 115 を見て、懐かしさからスグに購入。
改めて海外の日本語放送をひと通り聴き、その後海外短波局受信をメインに再活動。

1994 年　ハムフェアで中古の通信型受信機を購入。（旧トリオの 9R59DS、ドレーク SPR-4）

1995 年　クーガ 115 で 7.165MHz の R.エチオピアをロッド ANT で受信し、昔の感動が蘇る。

1996 年　BCL の趣向に変化、新たにリスナー交流が加わる。
趣味仲間を求め、「旧台北国際放送」や「ロシアの声」のリスナーズクラブに参加。
台湾リスナーズクラブで BCL の神様、故 山田耕嗣先生に出会い、「日本短波クラブ」に勧誘され入会、また同リスナーズクラブで「アジア放送研究会」の山下代表にも出会う。

1997 年頃　NHK 全局受信にチャレンジ。同年、国内テレビ局全局受信も始める。
（2011 年のテレビアナログ放送終了前までに、九州、沖縄の数局を残し、ほぼ受信）

1999 年頃　コミュニティ FM の全国受信を始める。

2000 年頃　灯台放送全局受信にチャレンジし、翌 2001 年に全局受信達成（最後の沖縄県宮古島局を佐世保のハウステンボスで受信）

2002 年～2003 年 JSWC50 周年記念総会実行委員となり、参加募集、幹事、総会司会役を担当。
同 50 周年記念特別放送のベリカード発行担当を務める。

2004 年～2009 年　ヤオフクでオヤジ買いに走り、古い受信機収集に嵌る。（往年のコリンズやドレーク等の舶来ものをメインに購入）

2005 年　国内民放中波局全局受信達成。（愛知万博に行き、民放最後の KBS 滋賀局を受信（大垣市於））

2007 年　県広域 FM 全局受信達成。　（E スポで最後の FM 鹿児島を受信）

2008 年頃　町田 DX ミーティング（旧・新 B 連・町田）に初参加。

2014 年 11 月　旧 B 連、KDXC、MDXM の合同同窓会（東京・秋葉原）に出席。

2015 年　NHK 全局受信達成。　（最後の NHK 奈良 FM をローカルで受信）

2017 年 6 月 3 日　秋葉原 BCL ミーティングに初参加。

2017/ 06/03　JSWC-8601 安田 寿男

BCL との出会い、そして KTWR フレンドシップラジオとの出会い

まっつん（三重県在住　３４歳男性）

BCL との出会い

こんにちは、初めまして。まっつんと申します。～BCL との出会い、そして KTWR フレンドシップラジオとの出会い～を、書かせていただきます。よろしくお願い申し上げます m(_ _)m。

昔、ラジオに一時期はまった時期がありました。1996 年頃、中学校 2 年あたり。夕方になると、1550 から 1600kHz あたりに、ラジオのダイアルを回すと、外国の言葉が聞こえてきたのです。それは韓国語で、FEBC というキリスト教放送であることは、後々知ることとなりました。中学生当時、新聞のラジオ欄に載っていない放送局を聞くのは、未知の世界を知るようで、大変魅力を感じていました。

次第に、中波は北海道～関東、関西の放送局を聞くようになっていきました。聞く目的は、遠い曲を聞いてみたい、というのが目的だったり、東海圏では聞けない声優の番組やアニソンを頑張って聴きたい、というのもありました。[1]

私はさらにいろんな放送が聴きたくて、当然子どもで、大変申し訳ない気持ちがあったのだけれども、SONY　ICF　SW-55 を祖母に頼んで購入し、中波/短波/FM 放送を楽しんでいました。特に FM はとても高音質で綺麗な音が出ていたと覚えています。“E スポ”で、中国語・韓国語での FM 放送が少しでも受信できたときはひとりで喜んでいましたへへ;。

ただ、今思うと残念ですが、受信報告書は一度も送ったことがありませんでした。（今でも、なんでだろう？と思う。）自由中国の声、ラジオ韓国等、北東アジアの短波放送はよく中学時代も聞いていましたが、ベリカードも持つことはありませんでした。

高校から、大学、社会人になっていくと、BCL に対して関心が薄れるというか、ラジオから離れて、シンセサイザー、ピアノ演奏、に興味が向いていきました・・・。（どの趣味も大切にしたいものですが。）

[1] 90 年代当時は、アニラジ（アニメ声優のラジオ番組）が多かった。2017 年現在はインターネット放送にだいたい移行している。

KTWR フレンドシップラジオとの出会い

時は流れ、１０数年が経ち、私は同じ地域の知り合いからイエス・キリストを伝道され、クリスチャンになりました。元来持ってる性格こそあんまり変わらないものの・・・。

最近、体調を崩すことがあって、ベッドに横になる時期がありました。「パソコンばかりだと眼が疲れるし、何か、横になりながらでも聴けるメディアないだろうか。」と考えた時、「あ、ラジオがあるじゃないか。」「そうだ、しばらくやってなかった短波ラジオはどうかな。」「それならクリスチャンの放送もあるんじゃないか？」そう思って、いろいろ調べて、発見したのが、“KTWR フレンドシップラジオ”でした。

日本製の短波ラジオは製造を中止しているものが多いと聞き愕然としましたが・・・、それでも短波が聴きたくて、海外製の短波ラジオ Tecsun PL-380 を購入したのでした。

KTWR フレンドシップラジオを聴いてみると

あまり堅苦しくなく軽快な二人の司会進行、惹きつけられるものがありました。番組構成・番組の対象は、BCL ラジオともだち、という位置づけで、何故か「また聴きたい」と思ってしまいます。「うどん vs そば」特集であったり、「ベリカードの保管方法」についてだったり、「BBC 日本語放送による、さっぽろ雪まつり ロンドン／札幌　二元生中継」であったり、なかなか他局では聴けない内容。

阪神淡路大震災追悼の日、東日本大震災追悼の日の放送では、それぞれ、放送では黙とうをしました。下記のベリカードの一部抜粋は、阪神淡路大震災追悼のベリカードです。「世界の多くのクリスチャンが日本のために祈っている」と番組で紹介されました。また、東日本大震災追悼の日である 3 月 11 日土曜日は、インターネットでの放送で、黙とう時間がほぼ地震発生同時刻でした。私は胸が熱くなりました。

KTWR日本語放送フレンドシップラジオ特別放送
2017年 1月17日（火）21:15~21:45 JST ・ 7400 kHz（41mb）

２０１７年１月１７日火曜日、KTWR フレンドシップラジオ特別放送の e-QSL カードの一部分を抜粋。[2]

復興と、魂の救霊のためのイエスキリストの御名によって、継続して被災された地域のために祈っていきたいと思います。

さて、4 月 16 日イースターの礼拝の e-QSL 画像は、リスナーの方による、可愛らしい羊の親子の写真でした。イエスキリストが来られる前は、動物を捧げて、ほふり、血が流されることで、人間の罪を赦してもらっていました。その代表の動物が、羊です。イースターはキリストの“死、サタンからの勝利、復活”を記念するものですが、改めて写真のセンスに感謝を申し上げたいです。

さて、フレンドシップラジオの司会進行をされるちゃっきーさん、谷さんは、この番組を「乗り合いバス」的な表現をされています。「なるほど、そういう表現ができるんだ。」と一瞬、空を見上げたのですが、私は、ずっとこの放送が続いていくことを切望しています。BCL ラジオともだちが増えてほしいですし、また、KTWR はキリスト教宣教が土台にあるため、この放送をきっかけに、聖書にふれる方も出てくるかもしれない。そのような期待もしています。

現在の私と BCL

KTWR フレンドシップラジオを聴くようになり、BCL に再び関わるようになりました。昔使用した愛機 SONY ICF SW-55 もアンテナ部分をお店で修理して頂き、使えるようになりました。大掛かりな装置は使わず、SW55 または PL-380 をリード線につなぐ、プチ遠距離受信、のような形です。日々の生活があるから、無理がない形で、聴いている最近です。

さて、今回は、北東アジアの中でも、韓国の放送を少しだけ取り上げようと思います。

私が韓国の放送をよりよく聴くようになったのは、私がクリスチャンになってから。教会の中で、韓国語を勉強する環境が与えられ、韓国の友人もできて韓国が身近な存在となったからでした。今まで持っていた韓国に対する価値観も少しずつ変わっていきました。聖書という共通の土台の中で話す大切さも感じました。

ですが、韓国と日本は、ニュース等の報道があるように、隣国であるが故に、多くの葛藤を抱えてきています。ですが、その葛藤の中でも、個人的に、微力ながら、韓国と日本の架け橋の、少しの部分だけでも、関わることができたらとも思っています。（それはいつかまた別の機会で話せたら）

(1)韓国語キリスト放送

FEBC 済州極東放送(1566kHz)が、夕方から聴こえるようになるのと、TWR 北方宣教放送が短波の 7510kHz で韓国語による放送が深夜にあり、ベッドに横になりながら聞くこともあります。ただ、夜遅いため、ぼーっと、そのまま寝てしまうことのほうが多いのも事実です;;。韓国語がわかるといっても、日常会話がペラペラできるわけでもないため、もっと勉強したいです。

（２）韓国の放送

KBS WORLD Radio 日本語放送や、KBS 放送（９７２kHz など）、Voice of America 韓国語放送も、時々聴いています。韓国の友人の住んでいる地域の情報を知りたいから。KBS World Radio 日本語放送の、“玄界灘に立つ虹”は、ラジオ韓国時代から変わらないコーナーで、懐かしさもあり、そして最近の韓国の内容を話して頂けるので、嬉しいです。

（３）日本国内の放送

国内の放送は、中学時代の延長というか、時々、北海道や関東、関西の AM の放送局を、夜に聞いていたりします。また、FM ではなんと、三重県にいながらも、大阪 MBS の FM 補完放送 90.6MHz、FM COCOLO（生駒山送信所）76.5MHz も受信可能であることがわかり、驚いているばかりです。BCL に再び関心をもってから、なかなか聴ける選択肢が増えたと感じていて、今後は、じっくりききながら、ご当地番組を聴く中で、受信報告書を書いていきたいと思っています。

これからの私と BCL

当面はゆったり番組を聴いていきたいです。熱心にしすぎても、どこかで躓いてしまってもいけないと感じています。なんであれ持続することが重要だなぁと。そして、あ、これは面白い、と思う番組があれば、その番組にお便りを出したいし、受信報告書を書いていきたいです。そして、子供のころから不思議だった鉱石ラジオの工作や、ループアンテナの制作等、まだやったことがないことが沢山ありますから、いつかそのような機会が持てたらと思います。

まっつん（三重県在住　３４歳男性）

[2] e-QSL カードの背景は聖書で、おそらく、エズラ記６章あたりの文章ではないだろうか。（間違ってたらごめんなさい。）エズラ記は、神殿（神の宮、現代でいうキリストの教会）の建築に関する内容。

海外日本語放送スケジュール

（A17対応版：2017.03.26～2017.10.28）　※赤字がA17変更周波数　作成：BCL Information NET　http://bcl.xii.jp/　2017/6/1

TIME (JST) UTC+9

放送局名	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0
KBS国際放送 *KBS World Radio* 大韓民国						9580	11810						6155 7275	9805	9805	1170	1170			
FEBC *HLAZ* 大韓民国																		1566 21:30-22:45		
朝鮮の声 *The Voice of Korea* 朝鮮民主主義人民共和国			621 3250 9650 11865	621 3250 9650 11865	621 3250 9650 11865							621 3250 6070 9650 11865	621 3250 6070 9650 11865	621 3250 6070 7580 11865	621 3250 6070 7580 11865	621 3250 6070 7580 11865	621 3250 6070 7580 11865			
中国国際放送 *China Radio International* 中華人民共和国			9535 13640	11680 13640											7325 11620	1044 7325 11620	1044 7325 11620	1044 7325 7410	1044 7395 7410	1044 7410 9585
台湾国際放送 *Radio Taiwan International* 中華民国／台湾			9735										11605			9735		9735		
モンゴルの声 *Voice of Mongolia* モンゴル国																12035			12015	
ベトナムの声 *Radio The Voice of Vietnam* ベトナム社会主義共和国				9840 12020											9840 12020			9840 12020		9840 12020
ラジオタイランド *Radio Thailand World Service* タイ王国																		9390 22:00-22:15		
インドネシアの声 *The Voice of Indonesia* インドネシア共和国																	9525			
イランイスラム共和国国際放送 *IRIB* イラン・イスラム共和国		7355 9765 05:50-06:50														17630 19:50-20:50				
主の再臨に備えて *World Harvest Radio/T8WH* パラオ共和国													9930 土のみ							
Reach beyond *(HCJB World Radio)* オーストラリア連邦				17760 土・日のみ												15400 土・日のみ				
RAE *Radiodifusion Argentina al Exterior* アルゼンチン共和国											7730 via WRMI （火～土）			5850 via WRMI （火～土）		6060 15345 （月～金）	停波中			
フレンドシップラジオ *KTWR* アメリカ合衆国・グアム島																		9900 日のみ 21:15-21:45		
トルコの声 *TRT* トルコ共和国										Stream http://www.trt.net.tr/Anasayfa/canli.aspx?y=radyo&k=trtvotwo							19:30-20:25			
ラジオスプートニク *Radio Sputnik* ロシア連邦								Sound Cloud https://soundcloud.com/sputnik-jp												

放送局名	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

TIME (UTC) JST-9

表彰いたします。

まことに僭越ではございますが、秋葉原 BCL クラブでは会報上にてみなさまの BCL 歴を 5 年ごとに表彰いたします。いい記念になるのではないでしょうか。

ご希望の方は「平成〇年〇月〇日、BCL 歴〇年希望」とご申請ください。

お名前はご本名もしくはハンドルネームとさせていただきますのでご明記をお願いします。

こちらが見本となります。

申請先：　せきやま☆あすか　E-mail: bcl_prince2014@yahoo.co.jp

ささやかなお祝いです。会員以外の方も歓迎します。みなさまからのご申請をお待ちしています。

会員の石﨑さんから自己紹介がありました。

自己紹介
氏名　石﨑亮史朗（いしざき　きょうしろう）
生年月日　1967 年 9 月 18 日
資格　第三級アマチュア無線技士
三重県北中部在住の石﨑と申します。最近は余りラジオを聴いていませんが、今後ともよろしくお願いいたします。三アマ取得を機に、A1club に入会しています。『SW DX GUIDE』の編集作業も毎月行っています。
一応、ブログも書いています（「JSWC-8216 の呟き」で検索してみて下さい）。
季節柄、皆様方もお身体にくれぐれも気をつけて下さい。
2017 年 7 月 29 日

編集後記

思った以上のたくさんの皆さんから原稿が集まり、正直びっくりしています。
でも、おかげで立派な会報が出来上がりました。投稿していただいた皆さん、ありがとうございました。
投稿はしなかったけれども読んでくださっている方も、次号以降での投稿を歓迎します。
これをきっかけに友達の輪が広がるきっかけになればうれしいです。

2017 年 9 月　　秋葉原 BCL クラブ　　編集担当　佐藤弘敏

ABC 50’s　Vol. 1　　秋葉原 BCL クラブ　　2017 年 9 月発行

表紙イラスト：あびゅうきょ
裏表紙前イラスト：ＫＴＷＲ日本語放送　フレンドシップラジオ　スタジオ収録想像図（あびゅうきょ）

KTWR 日本語放送　フレンドシップラジオ　スタジオ収録想像図

Copyright (C) 2017 あびゅうきょ　All Rights Reserved.